

学生サポートセンター
インターンシップ活動報告書

2021

M O K U J I

01

学生サポートセンター
インターンシップの修了を迎えて

02

企画の活動報告書

03

学生サポーター活動報告ポスター

04

コモンズサポーターに聞いた！
「〇〇な人」ランキング！！

学生サポートセンター インターンシップの修了を迎えて



学生サポートセンター センター長
伊藤守弘

第7期コモンズインターンシップの修了、おめでとうございます。

新型コロナウイルスが世の中に現れてから2年以上が過ぎました。今回の感染症は人間社会に予想外の大きな爪痕を残しています。多くの人が、コロナが収まっても世界はコロナ以前の世界には戻らず、少し違った方向に進んでいくのではないかと考えています。社会は既に、コロナが収まった後の世界に向かって動き始めています。そして、世界を新しい方向に変えていくのは、皆さんをはじめとする若い人の力だと言うことを感じています。

この2年以上の間、私たちは、感染対策を最重要の視点として、大学の機能を幾つかの要素に分け、その一つ一つを別の形で置き換えられないか、そういった努力を重ねてきました。授業を遠隔授業に置き替えたのもそのひとつです。大学だけでなく、そうした工夫が世界規模で行われ、実際にやってみると悪いことばかりではないということが分かりました。今後は、そうしたコロナ禍の経験や発見をどんどん取り入れながら、社会も大学も大きく変わっていくと思います。

その際、皆さんが経験したコモンズインターンシップは、大きな意味を持つと思います。インターンシップ中、直面したのは、正解を知らない問題ばかりだった事でしょう。そんな時、皆さんはどうして来ましたか？自分で考え、判断したはずです。いま、人類が直面している新型コロナによるパンデミックも、同じです。これからも、未知の問題に直面したときには、安直に正解を本やネットの中から探そうとせず、本インターンシップで身につけた、自分の頭で解決策を考えようと言うことを活かしてください。

コモンズインターンシップで学んだことを胸に、我が国そして世界の舞台で活躍してくれることを祈念して、修了生に贈るメッセージとさせていただきます。

キャンパスナビ



企画名・活動名	キャンパスなび 2021		
企画に携わったメンバー	武田祥也	芝高亜実	杉山友望
	岩田スラジュ	三輪風生	松井航太
	後藤大輝	柏原純菜	山田真奈衣
齋場玲音	漣知子	後藤龍聖	矢野梨花
池田拓生	新居紅綸	池田那月	説田亜夢里
丸山喬士	城戸瞭	井戸理紗子	伊藤秀美
尾崎花波	平山快	小幡乃亜	キャンパスサポーター
企画の実施日・期間	2021 年 4 月 6 日～9 日、11 日		
企画の内容・主旨・目的			
コモンズサポーターが新入生を案内することで新入生の不安を解消し、よりよい学生生活を支援する事を目的とした。また、学生サポートセンターやコモンズサポーターの存在を新入生へ周知するほか、参加したサポーターが相手を重んじる会話方法を考える機会とし、通常業務における利用者対応に役立つ力を身に付ける事を目的とした。 本企画は毎年行っている企画であり、各箇所に配置したコモンズサポーターが、講義室等、行くべき建物の位置が分からない新入生に対し、講義室の場所の説明や案内をするものである。 今年度はキャンパスサポーターやピアサポーター、一般の学生からも参加者(案内役)を募り、多くの学生への参加を呼び掛けた。また、講義室の案内と並行して、コモンズサポーターや学生サポートセンターの宣伝も行った。			
活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)			
実施期間は1週間、①9:00～9:25 ②10:45～11:10 ③13:00～13:30 の 3 つの時間帯で 9 号館下、不言実行館下にサポーターを配置した。一昨年の結果を参考とし、300 人対応するという目標を設定した。しかし、人数にこだわらず質の良い対応ができるよう、参加サポーター内での情報共有を徹底する事、また、7 期サポーターが入り、初めての全員で行う活動であるため、サポーター同士のコミュニケーションはもちろん、学生に対する対応に慣れることができるよう、経験のあるサポーターが手本となる姿を見せられるよう行動することを目標とした。 結果、1 週間で合計 217 人の対応を行った。目標である 300 人は超えなかったが、多くの学生のサポートができた。特に、体育館、10 号館、19 号館に関する質問が多かった。やはり最も対応の多い時間帯、日にちとしては、初日の 9 時から 63 人の学生が質問をしていたので、多くの新入生の不安を聞くことができた。また、遠隔の講義が受けられる場所や講義室の質問が来ることも多く、コロナ禍による大学の体制の変化が表れたと感じた。			
活動を終えて(感想、まとめなど)			
本企画は毎年行っている企画であり、多くの需要があると考えられる。また、2021 年度のコモンズサポーターの活動として初めに全員が携わる企画なので、コモンズサポーター全体の結束力も高まり、サポーターのコミュニケーション能力や積極性に繋がる、非常に有意義なものとなった。しかし、課題としてコモンズサポーター以外の参加者の少なさが挙げられる。募集期間が春季休業中とのこともあって、ポスターでの広報はあまり効果が無かった。SNS やトラネットメールなど、大学に来ていなくても知ることができる方法での広報が望ましいと考える。次年度以降も本企画を行い、サポーターとしての士気を高めながら多くの学生の助けになることを望む。			

コモンズシネマ



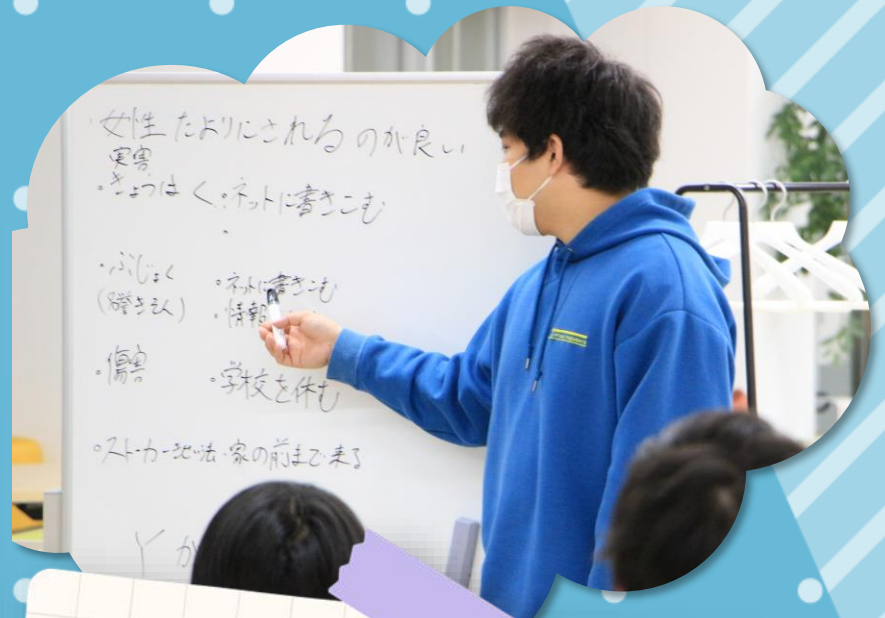
企画名・活動名	コモンズシネマ		
企画に携わったメンバー	松井 航太	説田 亜夢里	平山 快
企画の実施日・期間	2021 年 4 月 20 日、2021 年 6 月 11 日、2021 年 11 月 5 日		
企画の内容・主旨・目的 コモンズシネマは、アクティブホールにて映画館さながらの大画面で、参加者とともに映画を鑑賞するという企画です。コモンズシネマのコンセプトは、登場人物の心情について共感したり、製作側の意図を読み取ったりすることで感じる心を育むことです。参加者全員に参加票を渡し、感想を書いてもらうことで、より感じる心を育みます。また、純粋に映画を鑑賞して楽しむことで、学業で疲れた精神を癒し、気分をリフレッシュさせることも目的としています。今年度は「万引き家族」、「千と千尋の神隠し」、「ルパン三世カリオストロの城」の三作品を上映しました。上映するだけでなく、「千と千尋の神隠し」では映画に関するクイズを行っていつもと違った楽しみ方をしたり、「ルパン三世カリオストロの城」では映画の解説をすることで作品をより深く知ってもらうといったことを実施しました。			
活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど) 最初に上映した「万引き家族」では、参加者が 2 名と大変少なく、参加票にも「参加者が少なくて寂しかった」といった声がありました。参加者が少なかったのは、作品の内容が暗く、学生に魅力が伝わらないことが主な原因と考えました。そこで次に上映する作品として、コンセプトに則りかつ若者にも人気がある「千と千尋の神隠し」を選定しました。また、企画のポスターをよりインパクトのあるデザインに変更して人目に付きやすい工夫をしました。その結果、参加者は約 30 名集まりました。企画の内容に関して、違った観点から楽しんで貰うために、作中に登場する隠れキャラクターがどの場面に出てくるか当てるというクイズを出題しました。このコーナーは好評で、参加票にも「楽しかった」という声が多く上がりました。続く「ルパン三世カリオストロの城」では、上映前に作品の解説や裏話などを話しておき、作品を見たことある人でも違った着眼点で楽しための工夫をしました。このコーナーも好評で、参加票では「初めて知って面白かった」などの声がありました。しかしながら、前回の参加人数を超えるという目標に届かず、参加者は 20 名ほどでした。原因としてポスターでの告知が遅れてしまったことが考えられます。			
活動を終えて(感想、まとめなど) コモンズシネマは 3 人という少人数で活動してきました。少人数だからこそ一人一人に責任感が生まれ、企画の度に問題視されてきた情報共有について、問題なく活動できました。また、責任感があるからこそ、予定した期日通りに活動できました。しかし、少人数で活動するデメリットとして、1 人の負担が大きい、発想力が弱いことが挙げられます。運営する人数の塩梅を見ながら活動していくことが重要だと、この企画を通して痛感しました。 コモンズシネマはまだまだのびしろがあり、もっと参加者が増える企画だと感じています。今はまだ認知度が低いと思いますが、参加者を増やし、より多くの人に知ってもらうことで、他の企画や学生サポートセンター自体の認知度を高めていく、そんな可能性を秘めていると思います。コモンズシネマの発展を試み、まずは参加者 50 名を目指して今後も活動していきます。			

新1年生の森 2021



企画名・活動名	新 1 年生の森 2021		
企画に携わったメンバー	池田拓生	説田亜夢里	芝高亜実
	新居紅綸	矢野梨花	池田那月
	丸山喬士	山田真奈衣	井戸理紗子
	伊藤秀美	尾崎花波	後藤大輝
	柏原純菜	岩田スラジュ	後藤龍聖
企画の実施日・期間	2021 年 4 月 21 日		
企画の内容・主旨・目的			
2021 年度入学をする新入生が他学科の同学年の学生と友人となり、互いに刺激し合いながら大学生活を行えるようにしたいと思い広報部門の企画として本企画を立案しました。また、不言実行館の施設を紹介することで、参加した新入生の皆さんが勉強をする際に、この不言実行館を利用することで、勉学が捗ると感じていただけるようになる事も目指しました。なお本企画は新入生を中心としますが、他学年の学生も参加対象としました。自身の経験談やアドバイスを新入生に行うだけでなく、新入生側からもアドバイスをを行い、学科・年齢を気にせず楽しく交流できる企画にしたいと考えました。			
活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)			
内容に関しては、前回行われた「新 1 年生の森」と同等のものとなりますが、今回はレクリエーションを多く設定していました。他学科・他学年の学生と交流することを重点的に行いたいため、グループディスカッション形式のものを採用しました。 また不言実行館を利用していただくために、施設内を紹介する動画を休み期間中に作成し、編集を行った上で当日放送しました。本企画の告知については、広報部門の一環として行っていますので、これまでの様にポスターやチラシで行いますが、今回は新しい取り組みとして CCR(コモンズセンターレポートの略。学期オリエンテーション事に全学生に配布する広報誌。現在はコモンズレポートに名称変更。)に本企画の告知スペースを設け、掲示板を見ずとも、CCR を手に取った学生に企画の事を知っていただけるようにしました。 企画当日は 20 名近い参加者が集まり、開始前は初対面だった参加者同志が、終了後には連絡を取り合う程の仲になっていました。また企画参加者の中には、現在サポーターとして活動している学生もあり、本企画の影響力の大きさを私自身実感しました。			
活動を終えて(感想、まとめなど)			
本企画を通じて企画責任者という立場の大変さと当日に向けての準備を行い、無事達成する事ができたやりがいを感じる事ができました。本企画では初となる対面実施の企画の責任者という事もあり、以前の料理動画企画で担った企画責任者とは異なる緊張感を味わう事ができました。今回は以前自身が行った企画に参加した人数よりも多く、役割決めや進捗状況の確認などが多忙となり大変でしたが、当日を無事迎えた事に喜びを感じました。また今回は広報に本腰を入れており、以前より行っている施設内での看板掲示、SNS での発信以外に、CCR の一部を使用しての告知やキャンパスなびで学生に手渡す地図の裏面にポスターを印刷するといった方法を試み、多くの学生の目にとまるようにしました。その結果が 20 名近い学生の参加という形となったと思いました。しかし、この企画で上手くいきすぎた為に、本企画の失敗点の確認を蔑ろにした上に、次の企画でも上手くいくという過信を作ってしまう、その後の企画で失敗をしてしまったと反省をしました。			

法律カフェ (第9回)



企画名・活動名	第 9 回法律カフェ『ネット・トラブルと法律問題—その書き込み大丈夫?!』		
企画に携わったメンバー	池田拓生	池田那月	山田真奈衣
企画の実施日・期間	2021 年 6 月 30 日(水曜日)15 時 20 分～17 時 00 分		

企画の内容・主旨・目的

法律カフェは 2016 年に中部大学と愛知学院大学の連携事業としてスタートしました。愛知学院大学から法律の講師をお招きし、毎回テーマごとに身近な法律について考えることを目的としています。

第 9 回法律カフェのテーマは『ネット・トラブルと法律問題』です。

昨今の大学生にとって、インターネットは無くてはならないものとなっていますがトラブルも多く存在しています。特に、SNS は便利なツールである一方で、イジメや誹謗中傷などの問題が連日ニュースで取り上げられています。

第 9 回の法律カフェでは、ネット・トラブルの中でも私たちに身近な SNS に焦点を当て、グループディスカッションを通して楽しく学びました。

活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)

昨年はコロナウイルスによって開催を断念したため、with コロナでの初めての法律カフェの開催でした。飲み物の提供に関しては、感染対策の観点から中止すべきという考えやドリンク片手に参加者にリラックスしてもらいながら楽しむという目的を重視し継続すべきという考えで意見が割れることもありました。サポーター間でも悩みながら何度も議論を重ね、従来の紙コップからペットボトルでの提供に変更することで、感染リスクを減らしながらも法律カフェとしての在り方を両立させました。また、準備期間中に学内への入校禁止の措置が行われ、変更を余儀なくされることもありました。

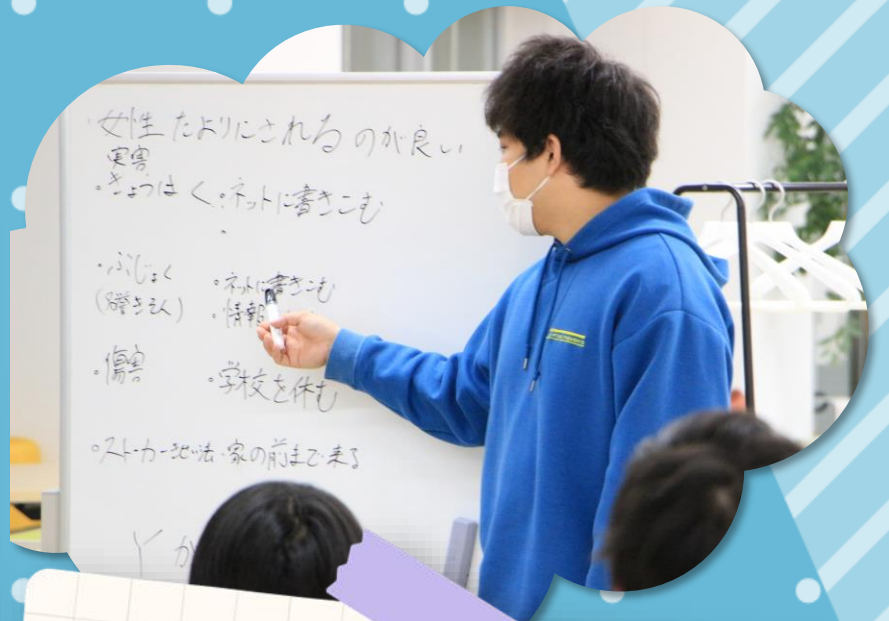
当日は講師として、愛知学院大学より法務支援センター所長の田中淳子教授、弁護士の浅賀哲教授、司法修習生の杉本直之先生に来ていただきました。はじめに、サポーターが用意したマルバツクイズを行い、田中先生に SNS に関する法律の説明や事例の紹介をしていただきました。その後、先生方が用意してくださった SNS に関する設問に関してグループディスカッションを通して、「プライバシーの侵害に該当するか」「肖像権の主張」「表現の自由の主張」「名誉棄損にあたるのか」「著作権侵害にあたるのか」などをポイントに白熱した議論が行われました。ディスカッション後は、各グループの意見を全体に共有し、浅賀先生と杉本先生から解説をいただきました。

活動を終えて(感想、まとめなど)

準備期間には緊急事態宣言の発令といったイレギュラーもありましたが、余裕を持って準備にあたっていたことや早期にポスター等の作成ができていたことが功を奏しました。開催当日はコロナウイルスが猛威を振るう状況下でも多くの方が参加して、積極的にディスカッションを行っておりとても嬉しく思いました。また、先生方も参加者もノリがよく、身近なテーマであったためみんなで盛り上がりました。アンケートではペットボトルにするなどのコロナ対策を参加者にとっても喜んでもらえていることが分かり嬉しく思いました。

今回の企画では早期から段取りよく準備を行えたことが良かったと感じる多い一方で、より多くの参加者を集めるための告知に工夫の余地があることや役割分担の負担の偏り、事前受付者の当日不参加を減らす工夫がもっとできたのではないかと今後の課題も見えてきました。

法律カフェ (第10回)



企画名・活動名	第 10 回法律カフェ『愛していれば、許される！？デートDV をめぐる法律問題を考えよう』		
企画に携わったメンバー	池田那月	山田真奈衣	池田拓生
	矢野梨花	新居紅綸	土土田愛美
	応雨静	小久保友誉	ゲンアイン
	村上奈菜香	山田理未佳	
企画の実施日・期間	2021 年 11 月 23 日(火曜日)17 時 5 分～18 時 30 分		
企画の内容・主旨・目的			
法律カフェは 2016 年に中部大学と愛知学院大学の連携事業としてスタートしました。愛知学院大学から法律の講師をお招きし、毎回テーマごとに身近な法律について考えることを目的としています。 第 10 回法律カフェのテーマは『デートDV』です。 DV とはドメスティックバイオレンスの事で、配偶者または事実婚のパートナーなど親密な関係にある男女間における暴力の事を言います。近年、DV が原因で別れてしまったり、警察沙汰になってしまうという事件が後を絶ちません。第 10 回の法律カフェでは結婚前の恋人間の暴力であるデートDV という言葉に着目し法律を学びました。			
活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)			
飲み物は前回の法律カフェに引き続きコロナ対策の観点からペットボトルを採用しました。また、春学期の開催と異なり肌寒い日が続いていたことからペットボトルとは別に温かい飲み物を望む声が多く、紙コップでの温かい飲み物とペットボトルでの飲み物の提供を併用しました。 当日は講師として、愛知学院大学より法務支援センター所長の田中淳子教授、弁護士の浅賀哲教授にお越しいただきました。田中先生から法律の説明を受けた後、参加者は 3 つのグループに分かれてディスカッションをスタートし、それぞれが裁判官になったつもりで判決まで話し合いました。			
活動を終えて(感想、まとめなど)			
今回の法律カフェでは、前回から新たに 8 名のサポーターが運営に加わりました。忙しいサポーターも多いなか、人手が足りず困っていることを伝えるとこれだけ多くのサポーターが運営参加を表明してくださりました。 企画後にはサポーターの振り返りをアンケート形式で行いました。この結果からサポーターからの満足度や評価は非常に高く、項目ごとに多くの意見を聴くことができました。一方で、前回の法律カフェの反省を生かし、事前予約者には開催前日にリマインドメールを送信したものの学生の予約者が訪れず、多くのサポーターが非常に残念だと感じていました。また、水曜日の P.S.H.の時間が学生としては最も参加しやすく打ち合わせ、開催日ともにこの時間帯を望む声が多かったです。今回の法律カフェではサポーター側と先生側の都合が合わず開催日は希望通りとはいきませんでした。そのうえ、開催日が祝日であったことも悪い方に影響し参加者が伸びなかったのではないかと考えています。			

七夕企画



企画名・活動名	七夕企画		
企画に携わったメンバー	矢野梨花	柏原純菜	後藤大輝
	芝高亜実	杉山友望	山田真奈衣
	新居紅綸	井戸理紗子	城戸瞭
	小幡乃亜		
企画の実施日・期間	2021 年 7 月 1 日～7 月 7 日		
企画の内容・主旨・目的 本企画は、学生サポートセンターの周知や施設に対する満足度を高める事を目的に実施しました。そのために以下の2点を行いました。 ① 学生が訪れやすい場所と知ってもらうために、サポーターが主催している企画であることを強くPR すること。 ② 不言実行館 1 階のエントランスという目立つ場所で、ただの七夕の展示にとどまらず写真映えを狙い、短冊へ記入し、自分で飾るなど参加型の企画とすること。 気軽に立ち寄り利用者同士で楽しめる場所と認識してもらうことが満足度向上につながると考えました。			
活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど) 活動内容【企画準備】 ・企画レイアウトの検討 ・やらなければならないことのリストアップ ・材料の購入・用意(笹←大学内で伐採、短冊、折り紙、ペン、ホワイトボード、短冊を置く机、パーテーション、アルコール、ごみ箱、ティッシュ) ・飾りやこよりの作成(飾り←折り紙・和紙から鶴・編飾り・くずかごを作成、こより←半紙から作成) ・笹やパーテーションに作った飾りの取り付け 活動内容【企画中】 ・企画場所の環境維持(不適切な短冊の撤去、注意書きの作成、短冊・こより・飾りの補充、机上の整頓) ・SNS の投稿(中部大学祭実行委員会とのPR 投稿) ・放送研究委員会の取材を受ける 設定した目標 「多くの人に参加してもらう」 その達成度 合計 448 人が本企画に参加⇒100%達成 改善点・工夫点 ・短冊を笹の上部に飾りたい人向けに脚立や台を用意すること。 ・笹がすぐ枯れてしまうため、定期的に葉水を行ったこと。			
活動を終えて(感想、まとめなど) 今回の企画は、施設で久しぶりの七夕企画だったこともあり、何から準備すべきなのかわからないことが多かったです。そのため、事務課の方やサポーターに協力を求めたことで具体的に何を行えば良いか明確になり、実現できました。 学校内で季節感を感じることができる企画を行うことができたのは良かったと思います。7 日間という開催期間で、400 名を超える参加者となりました。このことから、学生は季節のイベント意識の高さを感じました。今後も季節の企画などで学生サポートセンターを盛り上げていきたいです。			

レインフォレスト・アライアンス等の マークについて考える



企画名・活動名	コモンズ SDGs ワークショップ レインフォレスト・アライアンス等のマークについて考える		
企画に携わったメンバー	池田拓生	説田亜夢里	芝高亜実
	齋場玲音	矢野梨花	ゲン アイン
企画の実施日・期間	2021 年 10 月 6 日		
企画の内容・主旨・目的			
本企画は「コモンズ SDGs ワークショップ」と題して、学内における SDGs の認知度の向上を目的とする。本学は「SDGs を学べる大学」として動画などの媒体を通じて広く広報しているが、そもそも SDGs とは何か、どのような目標があるのかなど、具体的な内容を知っている学生は少ない。そこで本企画では、SDGs の 17 ある目標の内から、各回に、いくつかの項目に該当する国内外の活動を取り上げ、それについて参加者と理解を深めたり、議論を交わす事で、SDGs について学生が考える機会を提供する。 初回となる今回は、SDGs の 15「陸の豊かさを守ろう」の目標に該当する「レインフォレスト・アライアンス」認証を取り上げる。参加者には SDGs の大まかな内容と認証に関する基本的な知識を身に付けてもらうとともに、「熱帯雨林の減少を食い止められなかった場合、将来的に発生する悪影響」について考える機会とする。			
活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)			
最初に SDGs とは何かについて発表を行う。そのあと「レインフォレスト・アライアンス」について紹介する。発表後に「熱帯雨林の減少を食い止められなかった場合、将来的に発生する悪影響」について参加者自身が考える場を提供し、グループ内で討論した後に発表を行っていただく事を検討した。 最終的に企画に参加してくださった方には、コーヒーやその他飲食物といった身近なものにも SDGs が深く関わっている事を理解してもらうと同時に、SDGs に興味・関心を抱いてもらう事を目標として実施した。しかし、残念な事に参加者は当日来てくれたサポーターを除けば、0 人という結果となってしまった。			
活動を終えて(感想、まとめなど)			
前述した通り、結果自体は散々たるものだったが、改めて反省すべき点を見いだせたという部分に関しては、大きな収穫であった。 まず状況に応じた臨機応変な対応の必要性に気づかされた。実際に本企画では、当日間近になっても応募者は 1 人という状況であった。これ以上の応募の増加が見込めない場合は、開催日時の延長やサポーター内での勉強会への切り替えといった対応を行えたにも関わらず、そのまま当日まで通してしまった。また広報に関しては、不言実行館内に限っており、SNS 等での発信は行っていたが、それ以上に人目に付く場所に看板の設置も行うといった対応に気づくことができなかった。 一方で、参加メンバー全体でも、決められた役割以上の事をこなそうとはしないといった課題が、本企画を通じて浮き彫りとなった。勿論自らも然りである。 今後はこれらの反省点を理解し、状況に応じた臨機応変な対応が行えて、なおかつ決められた枠に留まらない積極的な行動を発揮できる様に心機一転して行いたいと思った。			

コモンズ美活部



企画名・活動名	第 5 回コモンズ美活部 クリアポーチ作り		
企画に携わったメンバー	杉山友望	芝高亜実	柏原純菜
	山田真奈衣	齋場玲音	漣知子
	矢野梨花	新居紅綸	池田那月
説田亜夢里	井戸理紗子	伊藤秀美	尾崎花波
企画の実施日・期間	2021 年 10 月 27 日		
企画の内容・主旨・目的			
本企画は、学生サポートセンターの周知、および新規利用者の増加を目的とする。これまで学生サポートセンターを利用したことのない学生に参加してもらうことで、学生サポートセンターを学生が訪れやすい施設として認識してもらうこと、宣伝に Twitter や Instagram などの SNS を活用し、学生サポートセンターの SNS アカウントを多くの学生にフォローしてもらうことで、今後学生サポートセンターから発信した情報を多くの学生に知ってもらうこと、また、ワークショップ等を通じて素敵な物を作ったり感じたりすることで内面から美しくなろうという美活を目的とした。 感染症対策を心掛けつつ、学生同士の交流を深めながらクリアポーチを作成した。クリアポーチは、好きな写真や画像を貼り、自分だけのオリジナルポーチを作成した。			
活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)			
定期開催しているコモンズ美活部だが、例年通りであれば内容を確定してからの試作、リハーサル、本番という流れで行うところ、今回は何種類か案を出し、すべて試作を行ったうえで内容を確定した。ポスター掲示、トラネットメール、SNS 等で広報を行い、当日は 7 人の参加者が集まった。当日の流れとしては、コモンズや企画の紹介を行い、アイスブレイクとして自己紹介を行った後クリアポーチづくりを行った。 企画を行う上での目標としては、役割分担をしつつ臨機応変に企画参加サポーターが行動する事・企画を経験したことのあるサポーターは後輩サポーターに多くのスキルを習得してもらえるよう行動する事を目標とした。準備段階ではなかなか全員でそうすることが出来ず、情報共有が仕切れなかったという課題はあったが、当日のサポーターの動きとしては積極的な声掛けや良い雰囲気づくり、臨機応変な対応が出来ており、参加者からサポーターの方の対応が良かったというアンケートの回答もあった。参加者のアンケートでは、全員が企画に対して「満足した」という回答をしており、次回もコモンズ美活部に参加したいという声がほとんどだった。企画終了後、アンケートの結果や当日、準備段階のフィードバックをし、サポーター間の情報共有・確認をきちんと行う事、スケジュールを予めきっちり決めておく事が今後企画を行う上で重要であるという事輪全員で再認識できた。			
活動を終えて(感想、まとめなど)			
当日の臨機応変な対応などにより、楽しくとても良い雰囲気で企画を行うことが出来た。参加者の満足度も高く得られたので非常に良い企画であったと思う。第 5 回となるコモンズ美活部だったが、やはり情報共有やスケジュールの立て方、役割分担には難しさを感じた。当日までの間にもう少しサポーター内での不安がなく余裕があればさらに良い企画になったのではないかと感じる。ミーティングやリハーサルなど、全員で意識や認識を共有する事が非常に重要であることを改めて実感した。また、企画の広報方法についてもまだまだ検討する余地があると考えられる。トラネットメールを見て参加を決めた学生もいたので、自分の手元に情報が届く事で、企画の周知や興味を引くことにつながると感じた。 今回の企画を通して感じた反省点は、企画だけでなく普段のコモンズサポーターとしての活動を行う上でも見直さなくてはいけない点なので、これらを活かして企画だけでなくコモンズ、コモンズサポーターを盛り上げて欲しい。			

コモンズツリー 2021



企画名・活動名	コモンズツリー2021		
企画に携わったメンバー	村上奈菜香	応雨静	ゲンアイン
	小久保友誉	土土田愛美	深田康聖
	森本美音	山田理未佳	李龍児
企画の実施日・期間	2021 年 12 月 15 日～2021 年 12 月 24 日		

企画の内容・主旨・目的

本企画では、新型コロナウイルス感染拡大の影響により思うようにクリスマスを楽しむことができなくなっている学生や教職員へ向けて、コモンズサポーター7.5 期生を主体として新規採用サポーターの斬新な考えをいかし、大学内で学生同士のクリスマスの思い出を作ってもらう機会を提供すること、そして、クリスマスの雰囲気を楽しむことができる空間を用意することで学生に興味を持ってもらい、参加者の増加を促し、大学内外への広報効果、そしてコモンズを知ってもらう機会になることを目的とした。

内容としては、不言実行館1F の吹き抜けに購入したクリスマスツリーを設置し、ツリー周辺に段ボールやトレーなどのリサイクルできるものでクリスマスの雰囲気を味わえるフォトスポットを制作する。また、2F の中央倉庫右のホワイトボード前にクリスマスツリーに見たてた植物を置き、サポーターがあらかじめ用意しておいた折り紙等で作成したオーナメントを飾ってもらう。企画参加者には手作りのクリスマスカードを贈呈するという企画も同時に行った。

活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)

10 月中旬、企画に携わったメンバーを集め、内容や役割を決める会議を行い、それを基に企画書の作成を行った。11 月上旬、企画書が完成し、事務課に提出した。その後、今年は例年レンタルしていたツリーとは違い、購入することになったため、学園広報課を伺ったところ中部大学を宣伝することを含めた広報活動をするを前提として本企画をサポートして下さるとの事だった。予算内でツリーとオーナメントのセットを購入する予定だったが、購入を考えていたツリーを販売している会社が詐欺サイトで知られていることが判明し、急遽、ツリーを学園広報課にオーナメントを学生サポートセンターに援助していただき、購入することができた。

11 月下旬からフォトスポット、2 階用のオーナメント制作に入った。

12 月上旬にクリスマスツリーとオーナメントが届き、設置後 SNS での広報活動も行った。それと同時に 2 階の企画も進め、クリスマスカードは手渡しではなく、取ってもらう形にしたため、最終的な企画参加者の人数はわからないがカードの減りから少なくとも 5 人の企画参加者がいたことが分かった。

中部大学の広報活動を含めた情報発信を行っていたが、Instagram のフォロワーは企画前より 12 人増え、2 つの投稿合計いいね数は 35 であった。2020 年は 1 つの投稿で 25 人がいいねしていたため、2021 年はより多くの人に知ってもらえたかったが残念であった。

活動を終えて(感想、まとめなど)

2021 年のクリスマス企画は、7.5 期生が主体となり、だいたいの新規採用サポーターが初めての企画であったうえに、毎年クリスマス企画を引き継いでいくという前提でクリスマスツリーをレンタルではなく購入した。そのため、初めてのことで戸惑いながら、学園広報課へ行ったり、さまざまなトラブルがあったりと、予想以上に準備に時間がかかってしまい企画を実行する時間が短くなってしまった。来年は、1 カ月ほどの期間で企画を実行し、多くの方に参加して頂けるように 9 月下旬には企画書を作成したいと考えている。また、SNS の広報活動も早く始め学内でクリスマス企画の存在をもっと広げておくべきだったと思う。

コロナ禍での企画にも関わらず、協力してくださった方や参加してくださった方には感謝の気持ちでいっぱいである。企画を終えたという達成感は大いだが反省点や改善点がたくさんあるため、「コモンズツリー2021」で学んだことを来年にも活かし、年を重ねるごとにクリスマス企画はもちろん、サポーターとしても創造力や発想力をどんどんパワーアップさせていきたいと思っている。これからのクリスマス企画を通して学生サポートセンターをはじめ、中部大学をより多くの方に知ってもらう機会が増えたらいいなと考えている。

併設校生徒・出身者へのサポート



企画名・活動名	併設校生徒および併設校出身学生へのサポート活動		
企画に携わったメンバー	丹羽和寛	長谷川巧	伊藤大賀
	野村知希		
企画の実施日・期間	2021年4月1日～2022年3月31日		

企画の内容・主旨・目的

昨年度より、中部大学第一高等学校から中部大学に進学予定の生徒と進学した学生のサポートを主に行なっている。本年度は、主に進学予定者を中心にサポートができる環境作りにも力を入れて取り組んだ。

①学生サポートセンター日進分室(進学支援室)の設置

気軽に現役学生と話せる空間を作り、大学を身近に感じて欲しいと思い、月1回サポーターが訪問を行なっている。

②第二学年進学ガイダンスへの参加

昨年度同様に進路指導部の依頼を受け、進学ガイダンスの大学進学希望者に向けたガイダンスを行なった。

③学生サポートセンターの利用促進に向けたポスター掲示 ※

④第一学年文理選択ガイダンスの開催 ※

活動報告(実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど)

①学生サポートセンター日進分室(進学支援室)の設置

大学に隣接している春日丘とは異なり、第一高のある日進市と春日井市は距離が有り、生徒が大学生と関わる機会はほとんどなかった。そこで、学生サポートセンター日進分室(進学支援室)を月1回開室し、進学相談などを行なっている。

②第二学年進学ガイダンスへの参加

本年度は体育館にて対面で行なわれた。文理に分けて2年生からやっておいの方が良いことや、現在の大学生活について話をした。

③学生サポートセンターの利用促進に向けたポスター掲示 ※

①と同様で距離的な問題から、第一高校の生徒が学生サポートセンターを利用することはほとんどないのが現状である。しかし、新型コロナの影響もあり大学周辺に住んでいる生徒を対象を絞り利用促進を促そうと考えた。結果スクールバス車内に掲示することまでは決定していた。

④第一学年文理選択ガイダンスの開催 ※

文理選択で悩んでいる生徒を実際にみかけたため、学生の視点からのアドバイスができればということで実施を決めた。

活動を終えて(感想、まとめなど)

①学生サポートセンター日進分室(進学支援室)の設置

6月よりこの活動を始めたが、進路選択や入試前には多くの来室者がいるものの、それ以外の時期の来室者が非常に少ないのが課題である。しかし、学科の選択や入試前の相談をするために来室してくる生徒もいたため開設してよかったと思っている。

②第二学年進学ガイダンスの参加

昨年度とは違い全員の顔が見える状態で行えたため、生徒の反応が見られたのがよかった。後日配布した質問用紙も書いて下さる生徒が予想より多くいたことに少し驚いた。

③学生サポートセンターの利用促進に向けたポスター掲示 ※

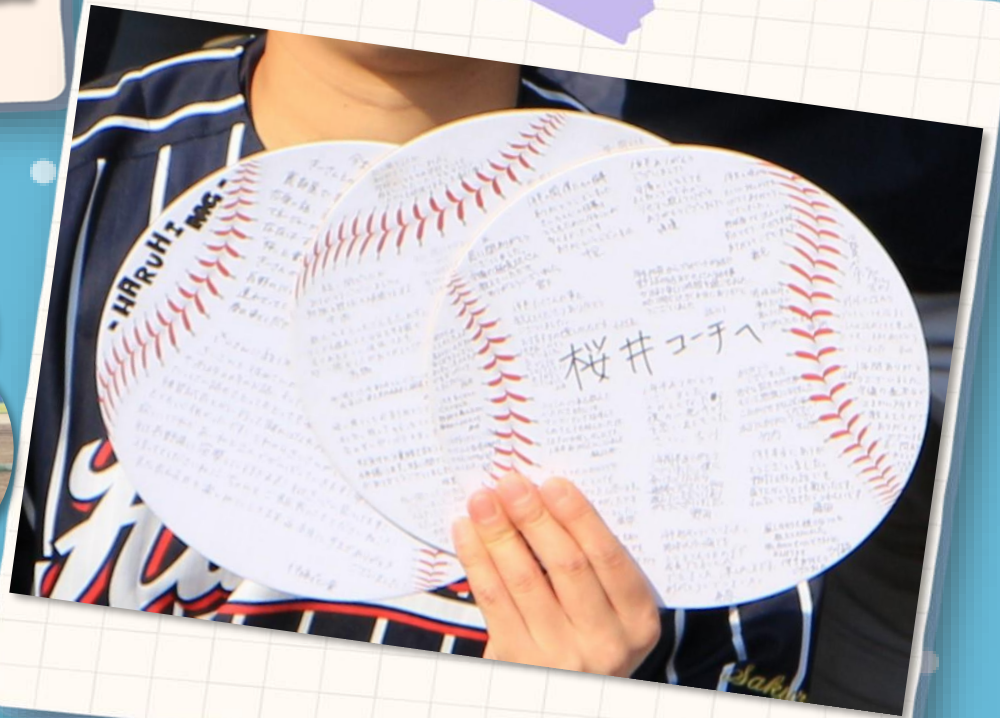
スクールバスの春日井市内を走る2コースに掲示予定で、(株)セントラルサービス様と話を進めていたが感染拡大などの諸事情により掲示を断念した。今後は感染状況により学校内掲示など柔軟に対応できればと考えている。

④第一学年文理選択ガイダンスの開催 ※

9月の開催を検討していたが、感染拡大による分散登校期間と重なり断念した。来年度は実施できればと考えている。

※③、④は、新型コロナウイルス感染拡大の影響などにより中止。

中部大春日丘高校クラブ活動のサポート



企画名・活動名	中部大学春日丘高等学校野球部学生コーチ		
企画に携わったメンバー	桜井 貴一		
企画の実施日・期間	2021年4月～2021年12月（2020年4月から継続）		
企画の内容・主旨・目的 【内容】 ・中部大学春日丘高校野球部の学生コーチとして日頃の練習での指導や大会、練習試合への帯同。 ・ノッカー、バッティングピッチャーなど練習の補助や練習メニュー作成。 ・高校生の野球やそれ以外の相談にのったり、大学についての情報提供をしたりする。 【主旨・目的】 ・自分の持っている知識や経験を次の世代に伝える。 ・大学と高校の連携の一環となる。 ・高校生に中部大学についてより知ってもらう。			
活動報告（実際の活動内容や、設定した目標、その達成についてなど） 1年目の活動では、中部大学春日丘高等学校野球部について知ることが多かった。選手との関係性を築くためにも自分からコミュニケーションを取りに行っていた。2年目は、1年目のコミュニケーションが活き、選手から相談や話しに来てくれるようになった。新型コロナウイルスの影響もあり、実際には行えなかったが8月には私の母校、佐久長聖高等学校との練習試合も含めた2泊3日の遠征の企画も行った。練習試合相手を探したり、宿舎の予約を行ったりした。 大会の結果、甲子園出場は果たすことはできなかった。2021年第103回全国高等学校野球選手権愛知大会ベスト16。2022年春の選抜大会をかけた秋季大会では、愛知県3位で東海大会出場を果たした。東海大会では、初戦で敗れた。 様々な情報を得る中で選手が選択し実行する。それが考えられる選手だと思う。そういった選手を育成することを心がけ指導を行った。1から100全部教えるのではなく、少しのヒントを与え、選手に考えさせた。やっていく中で変化を感じたのは、選手からの相談だった。はじめは、「打てないのですが、どこが悪いですか」とアバウトなものだったが、指導していくと「〇〇を意識してやっているが見てほしい」や「あその場で自分は〇〇と考えましたがどう思いますか」など自分の考えがプラスされた内容となった。変化が見え、選手の成長を感じ達成感や喜びを感じた。			
活動を終えて（感想、まとめなど） 今年度は就職活動を経験した。あまりない活動ということもあり、面接では興味を持って頂いた。今回の活動は、野球の指導であったこともあり、感覚を言葉にすることがとても高い評価をもらえた。 新型コロナウイルスが大流行し、思うようにいかないこと、高校野球の変化もあった難しい1年半であった。1年目は夏の大会がなくなり、高校野球の魅力の1つでもある応援もできなくなった。しかし、有観客となると多くの人が球場に足を運び、選手の1つ1つのプレーがひとの心を動かすことを目の当たりにし、改めて高校野球の力を感じた。 4月から社会人となり、高校野球から離れることになるが1ファンとして応援していきたい。将来的には、中学生や小学生の野球を指導するつもりだ。今回の活動で学んだ高校野球で必要とされる人材、自分で考え行動できる野球選手ではなく、野球人を育成していきたい。 今回の活動を快く受け入れてくださった、高校野球部の先生方。送り出してくださった大学野球部の監督、コーチ。活動を薦めてくださった、伊藤守弘先生、善久裕司先生。活動のサポートをしてくださった学生サポートセンターの方々。そして活動に関わってくださった多くの方々に感謝しております。ありがとうございました。			

2021年度活動報告

工学部 機械工学科 4年 岩田スラジュ

～サポーターとしての3年間～

1年目



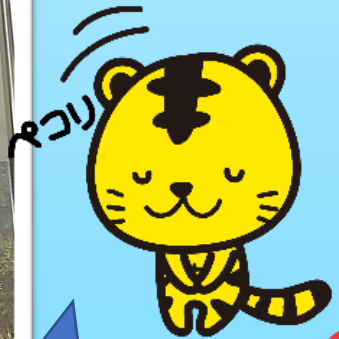
5期生として commons サポーターになった。CCR や commons GOLD という企画に参加し、編集や取材を行った。利用者対応や開館閉館業務にも慣れることができた。



2年目



広報部門のリーダーを務めた。春学期はコロナウイルスの影響でほぼ活動できなかったが秋学期は commons GOLD やクリスマス企画、1年生企画など様々な企画に参加し、様々なサポーターと関わりコミュニケーション力や協調性の面で成長することができた。



3年目

2年目のリーダーを務めた。リーダー面談を通して他のサポーターとコミュニケーションを取りながら悩みなどを聞きアドバイスを行った。また、リーダー会議でしっかり議論し、指示を出すことにより全体会議を円滑に行うことができた。このことによりリーダーシップが身についた。



commons サポーターとしてとても有意義で濃い3年間を過ごすことができ、様々な面での成長をすることができた。



< 5.5 活動報告



今年度の活動

工学部 機械工学科 松井航太

コモンズシネマ

初めての主担当で不安なことも多かったが、参加者も集まり、総じて良い企画になったと感じている。

また、度々問題視される情報共有について、コモンズシネマでは少数で活動していたため統率がとりやすく、一人一人の責任感が生まれることにより問題にはならず、スムーズに活動できた。

2階に本棚を導入

憩いの場である畳エリアと本棚の有効活用という目的で企画したものだが、レイアウトの変更によりモチベーションが低下し、実行に移していない。しかし、本棚班の活動のきっかけとなったため、企画した意味は成した。

その他

ガイドラインの作成に携わる、サイネージに流す動画の作成、環境づくり(BIG PADに流れている心理テストの作成等)など行ってきた。

活動を踏まえて学んだことや成長したこと

今年度は最高学年ということもあり、教える立場や指示を出す立場になることが多かった。特にコモンズシネマでは中心となって運営することで、スケジュールの組み方や役割分担など、企画の運営について学べたいい機会となった。

また、今年度は自発的に活動することが多かったため、積極性や行動力、少なからず発想力も成長したと感じている。しかし、何かを成すには積極性や行動力だけでは足りず、周りの人たちの助けも必要になってくることをよく学んだ。

最後に...

2年生の秋学期から始めたコモンズサポーターですが、気づけば古株、気づけば卒業までできました。様々な経験を通して成長したことは財産です。そして何より、やって良かったと一番感じることは友達が増えたことです。総じて楽しかったです。ありがとうございました。



三輪のコモンズ生活

機械工学科 4年
三輪風生

2019年(2年生)

三輪コモンズサポーターになる。

勤務でやることを探すのに苦勞する。

コモンズGOLDでの活動。

eスポーツの企画をやろうとするも断念。



1年生まで、学科での勉強や企業でのインターンシップ以外に、これと言ってアピールできる活動をしていなかった中で、始めた活動だった。2年生での1年で自分自身の足りないところ、課題、弱点など、新しい発見のある充実した1年だった。

2020年(3年生)

授業がオンライン中心となり、交通費の関係もあり、あまり活動できなかった。

コモンズサポーターとしての活動はできなかったけれど、コモンズ以外の時間ができた分、資格を多く取得出来たり、授業外の勉強やインターンシップなどにも参加でき、前年にコモンズの活動で見つけた課題や行動力、柔軟性など身に着けたものがこの年の自信を磨く役に立った。

2021年(4年生)

可能な限りコモンズの活動に関わる努力をした。

勤務時にコモンズをより良い場所になるように努めた。

コモンズでの活動を通して、卒業研究の活動に大きく役に立つ場面が多くあった。PowerPointを作ったり、主体性が重要になる場面が多く、「あ、コモンズでやってたことが役に立っているのかな?」と感じる場面が多かった。就活はしていないからわからないけど、周りの学生よりも成長していると実感のできる1年だった。

コモンズインターンシップ活動報告

工学部都市建設工学科 4年 柏原純菜

入りたてで右も左も分からなかった**2019年度**

緊張...



コモンズサポーターになろうと思ったきっかけは決して志の高いものではなく、教授に勧められたからだった。初めは覚えることの多さに驚いたり、利用者への対応がうまくできずへこんだり。それでも先輩方のコモンズに対する前向きな姿勢や、成長する機会をたくさん作ってくれたことから、頑張っ

て成長したい！と思うようになった。またfilでは、同期のみんなが堂々と話しているのを見て、とても刺激を受けた。半年間で企画に参加をしたり、研修や説明会を任されたりと、学ぶ機会がたくさんあった。勤務についても自分から考えて動かないと成長できないことを実感し、行動力や積極性が身についた。先輩方の偉大さも実感。



懐かしの(?)コモンズGOLD

異例の状況に戸惑いつつたくさん考えた**2020年度**

先輩方の卒業と6期生が加わるにあたり、先輩に頼ってばかりではいけない！頼られる先輩にならなくては！と思っていた矢先、新型コロナウイルスの影響により大学への入校禁止。正直、コモンズサポーターとしてもできることが限られてしまったが、今だからこそできることなど、たくさん

感染症対策



ことを考える期間にできた。秋学期からは企画も開催できるようになり、環境に気を遣いながら通常のコモンズに少しでも戻せるよう努めた。活動の幅を制限された年ではあったが、新たな発見や発想があったり、周囲に気を配れるようになった時期でもあると感じる。また、周囲との協力で得られた、達成できたことも多くあり、他のサポーターの存在の心強さと、自分のコモンズサポーターとしての未熟さも感じた。まだまだこれからと感じた1年。

最高学年かつチーフリーダーを務めた**2021年度**

チーフリーダーを任されることになり、不安とプレッシャーはたくさん感じた

が、責任感を持って務めようと心掛けた。正直上手く団体をまとめられるリーダーだったかはわからないが、サポーターひとりひとりの声をしっかり聞くことはできたと思う。昔は苦手だった前に立って話すことも今は苦ではなくなった。チーフリーダーだけでなく、コモンズ美活部の主担当も担い、まとめることや指示を出すことの難しさを実感した。どうしたらうまく人に伝えることができるか、どのように動くと効率が良く事が進むかなど、たくさん考える1年だった。また、人に頼ることの大事さを改めて感じた。当たり前のことかもしれないが、人に頼ったりお願いをするのが得意ではない人も実は多いのではないかな。頼っていいということこれから社会人になる自分へ向けても、他の仲間のサポーターにも是非伝えたい。



ポスター作るの
実はずっと好き

集大成...？

後藤大輝の

活動報告書

実録



工学部 都市建設工学科 4年

5.5期サポーター 後藤大輝

1年かけて積み上げたものを、**赤裸々に**書きます。



第1幕 リーダー就任

私は怠け者です。面づくさいことは苦手だし、疲れることは長くできません。しかし私は怠ける癖を直したいし、面倒くさいと思わずに早く仕事をこなせるようになりたいと常日頃から思っていました。

令和2年4月、私はリーダーになりました。投票のシステムの結果でもありましたが、実際になると決めたのは、自分を成長させるために最適だと思ったからです。しかし、リーダーになるとやはり、想像通り面倒くさい仕事が山ほどありました。夜に始まり、日を跨ぐリーダー会議に、全員と話さなければならぬリーダー面談、班の仕事はお願いすることもできず自分で勤務に入ったときにやってそれを報告する、そんな仕事だらけで自分の時間を削るだけの日々でした。次第に、何がリーダーだ、まとめるどころか面倒な役を背負っているだけじゃないか。と、思ってきました。そんな夏過ぎのことです。事務課の方から、2020年度入学生の記念品贈呈をコモンズでしてほしい。と、お願いがありました。



ジカンガナイ...

第2幕 2020年度入学生記念品贈呈式

私は、これも成長するのにいい機会だと思い、主担当として参加することになりました。しかし、やることに変わりはありませんでした。暇のある時間に、祝う方法、買わなければならないもの、準備するもの、色々なものを事務課と相談しながら揃えていきました。

よし。だいたいまとまったから行動に移すか、と思っていたその時、事務課の方から恐怖の一言を頂きました。「来週からもう始まるね。」どう考えても時間がありません。神ですら1週間かけて世界を作るのに、ただのコモンズリーダーが1週間で準備完了するわけがありません。

しかし私にいつもと違う手段を取る頭脳など無かったので、いつも通りとりあえずやることリストを作って、他に人は参加するかは自由にして、自分で作業を進めようと思っていました。その時です。かの救世主キリストのように、私に手を差し伸べ助けてくれたサポーターが降臨されました。（自主的に手伝ってくれました。）ほぼすべてのタスクを効率よく分担してくれたおかげで、私にも役割を名指しでお願いする余裕すらできました。結果として、皆の助力により、時間に間に合い、気持ちのよい記念品の贈呈ができ、成功した記念品贈呈式だと言えるのではないのでしょうか。

終幕 最後に

今回、私は運よく初めのサポーターに声をかけてもらえたので何とかなりました。それもそのはず、私自身の何かが成長し、成功したのではないからです。結果としてですが、私の怠け癖や面倒くさいと思う気持ちはどれだけ無くそうと努力をしても残りました。要は車を運転しながらFIFAをし、スマホで彼女と連絡を取りながら歌を歌うような、それこそ一人で企画を完遂できる完璧スーパーマンのような人はいないです。よって私が目指すべきなのは、多少の短所の改善をし、能否を見分ける目を持ち、他人を頼ることができるリーダーだったと考えています。

しかし気づくのが少し遅く、もうコモンズにこの気持ちで関わる機会は残されていません。したがって私は、新しい勤務先で実践していきたいと思います。これを見ている、同じことで悩んでいる皆さんも、少し肩の力を抜いて、周りを見てみてください。

遠慮なく他人を頼れるのも、一つの力だと思いませんか。

これで終わりだよ。またね

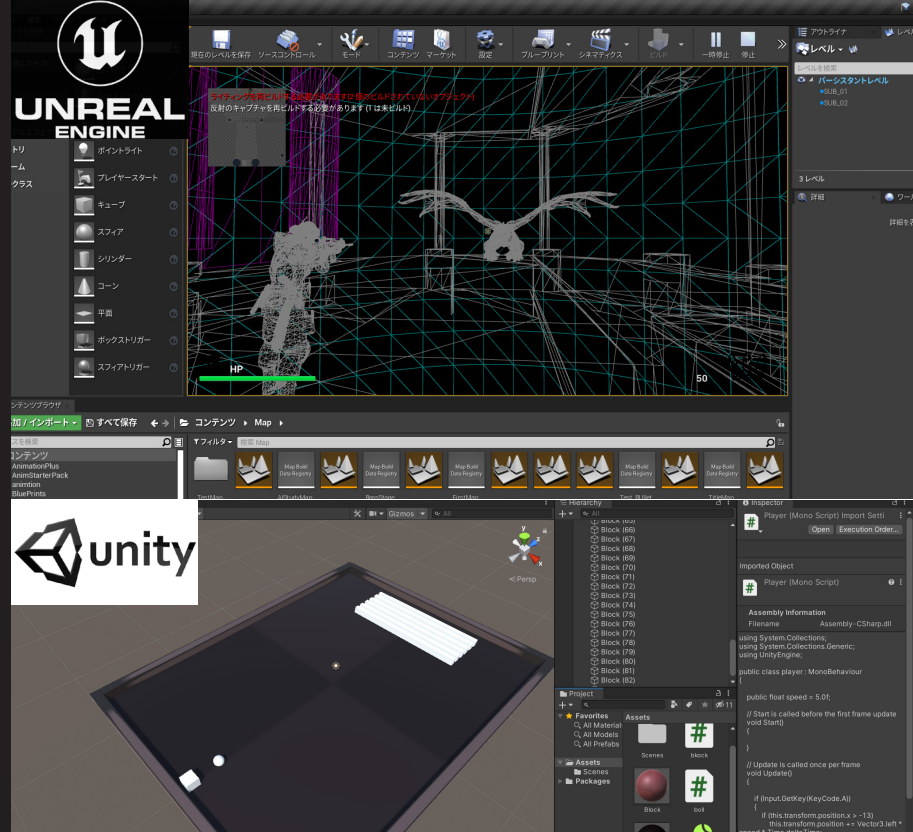


5.5 期

コモンズサポーター

後藤龍聖

活動報告



今後学んでいきたいツール紹介

誰のために活動しているのか？

サポーター活動を通じての学びと気づき

どうやら私は、「誰に向けた仕事なのか？」という点が明確でなければ、仕事に対してやる気を出すことが出来ないらしい。このことに気づいたのが、コモンズサポーターへ向けた「自己紹介動画作成」のときだ。

自己紹介動画は、自身のことを紹介するという目的はあるが、新人サポーターに楽しんでもらうという目的も存在した。私は、動画構成、テロップの位置、話のわかりやすさ、など、楽しんでもらうために様々な工夫をした。作業時間は覚えていないが、短い時間ではない。しかし、その作業時間を、苦痛に感じたことはなかった。

この時、**自分は人のために仕事をしなければ、手を抜いてしまう**ことに気づかされた。何故なら、「誰のために仕事を行っているのか」が定まってない場合、自身が納得してしまえば仕事が完了するからだ。

自分の、仕事に対するやる気が、どこから湧いているのかということに気づいて以来、日々の業務が何故行われているのか、誰のために行われているのか考えるようになった。「誰のために仕事を行うのか？」を考えて仕事をするようになってからは、どのような仕事にもやりがいを見いだすことが出来るようになった。

誰のために仕事をしているのか考えていけば、やりがいを見いだすことが出来る。

このことこそが、**自身がサポーター活動を通じて得た最大の発見**だ。



活動に活かすことができたツール

やりたいことと

求められていることの間

実現しなかった企画の中に、「コモンズゲーム企画」がある。この企画の会議には私も参加していた。当時は、実現するために何をすれば良いのか思いつかなかった。しかし、今になって振り返ってみれば、実現しなかった理由は単純で、「サポーターがやりたいから」という理由で企画にしようとしていたからだ。誰のために企画をするのが明確でなかったのである。

サポーターがやりたいことから企画の目的を考え、目的と結びつけることは難しい。

そこで私は、ターゲット層を決めてからやりたいことに結びつける方法を思いついた。

ターゲット層を決めてしまえば、その人にあった目的の企画を考えて行けば良い。

「コモンズゲーム企画」の場合で考えてみる。

「ゲームをして遊びたい」というサポーターの意見から目的を考えるのではなく、「ゲームについて学びたい人」という相手を想像し、目的を考える。「ゲームの歴史について学ぶ企画」、「ゲームの作り方を学ぶ企画」など、ゲームをして遊ぶこと以外にも企画にする方法が思いつく。

企画者が興味のある分野を企画にすることができれば、必ず良い物ができあがる。

相手の求めていることに、自分なりの工夫を加え**唯一無二のものをつくっていきたい**。

求められていること

？

やりたいこと

すべてのきっかけが

Chance

に ——— 工学部応用化学科3年 新居紅綸

新1年生の森2021

新一年生に、自分たちの学校についてもっと知ってもらうため、「作ろう！中部大マップ」という中部大学の地図を作るレクリエーションを行った。学内にある施設の場所のヒントと、その施設の写真をを使って、参加者に中部大学のマップを作成してもらった。



実際に大学内の様々な施設の写真を撮って回り、カードを作ったり地図の台紙を作るなど準備は大変だったが、話し合いを繰り返し、やりごたえがあるゲームを作ることができた。



キャンパスなび

講義室の場所が分からず困っていきそうな1年生に自ら声をかけたり、地図を示しながらのスムーズな案内もできた。自分から聞きにくい学生も多いと思うので、挨拶や呼びかけを行うなど、出来る限り聞きやすい雰囲気を作ることも心掛けた。キャンパスなびと、新1年生の森2021のマップを作るゲームで中部大学の色々な施設に行く機会が多く、オープンキャンパスのスタッフとして学校案内をする際にもとても役に立った。



企画を通して

私はこの2年間様々な企画を通し、人の前に立って話したり、企画の参加者や施設の利用者さんとコミュニケーションをとったりすることで、自分から積極的に話すことに抵抗がなくなったと感じている。また、ミーティングを中心となって進める中で、企画の準備をいつまでにするかといったスケジュールを立てたり、役割分担を行ったりと計画性も身に付いた。



法律カフェとコモンズ美活部の企画には、主にポスター担当として携わった。学生に興味を持ってもらうにはどうすれば良いか、宣伝方法についてとても考える機会となった。

またコモンズ美活部では、ミーティングや試作を行う中で、どの作り方が一番良いかみんなで試行錯誤した。手順が難しかったために作り方に戸惑う参加者も多かったが、サポーターが一人一人付き添って教えることで、参加者とのコミュニケーションも取りつつクリアポーチ作りを楽しむことが出来たと思う。

コモンズ美活部 クリアポーチ作り

インターンシップを振り返って

私がコモンズサポーターの募集を知ったのは、友達の誘いという些細なきっかけでした。自分から進んで取り組むことは元々苦手でしたが、先輩を真似してやってみたり、誰かに頼まれてやってみたり、些細なきっかけの中で、自分の中でいろんな選択肢が増えました。

出来ることが増えるとやりたいことも増える。そして、毎日がきっともっと楽しくなる。この気持ちを忘れずにいろんなことに挑戦していきたいです。Every day is a new day!

コモンズレポート

昨年度も作成に携わった Commons Report を、今年度はレイアウトデザインから作成し、集まってくれたサポーターの中心となって制作を進めた。

この一年間、adobe ソフト習得を目指し、コモンズ内のポスターやpopなどを作成する中で、どんな人に見せたいのかなど目的に合わせた工夫が大事だと考えた。デザインの勉強、そして、コモンズ企画での経験の集大成と考え取り組んでいる。これを見た学生に今後も気軽にコモンズを使ってほしい。





法律カフェ 春
『ネット・トラブルと法律問題
—その書き込み大丈夫?!』
1年越しの法律カフェの開催と
なり過去の資料を参考にしながら
手探りで準備を進めていき
ました。
本番は、初めての単独での
司会ではあったものの緊張
しながらも上手く進行
できたと感じています。

法律カフェ 秋
『愛していれば、許される!?』
デートDVをめぐる法律問題を考えよう』
2回目の法律カフェは運営サポーターが
なかなか集まらずギリギリの準備期間
で慌ただしく準備をすることになってし
まいました。
初めて企画を取りまとめる立場になり、
思い通りに伝わらないなど大変なこと
も多かったのですが、皆の力で企画が出
来上がっていくのを見るのはとても面白
かったです。

新1年生の森2021
2021年の春に行った新1年生の森
2021ではレクリエーションを担当しま
した。
サポーター間で事前に行ったときは人
数が少なくイメージがわからず心配しま
したが、本番ではスムーズに進行させ
ることができ、とてもほっとしました。
複数のレクリエーションを行いました
が、どれもとても盛り上がり進行して
いる私自身もとても楽しむことがで
きました。

第6期commonsサポーター
工学部応用化学科3年
池田那月

今年度もキャンパスなびや美活
部をはじめとした多くの企画に携わ
ることができました。

中でも自身の成長に大きく繋
がったと感じるのが新1年生の森
2021と法律カフェです。

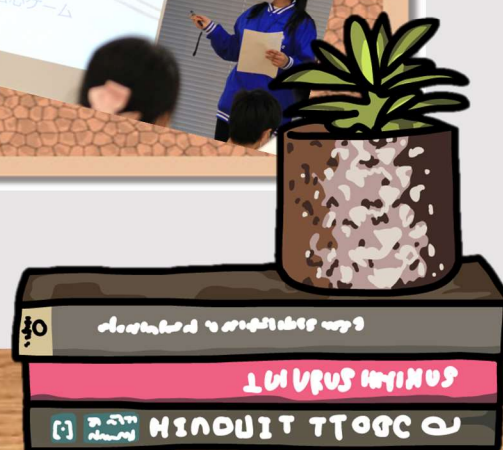
新1年生の森ではレクリエーション
を担当し参加者の前で一人で発
表し、参加者の様子を見ながら進
めることの難しさを実感しました。

続く春の法律カフェでは、新1年
生の森での発表を活かしながら全
体の司会を務めることができました。
一方的に話すのとは違い全体を見
て盛り上げる時間の管理を行う
というのはとても難しかったです。

秋学期には今年度の目標に近
いことを2度目の法律カフェで行
えました。

人を取りまとめる立場というのは
期限の管理やフォローなどとても
大変でした。また、上手くいかない
ことが続く私の指示が悪かった
のではないかと不安にもなりました。
準備期間が短い中でもやり遂げ
られたのはサポーターのみんなの協
力のおかげです。

チャレンジしてみたいことすべ
てをやり切るには時間が足りな
かったのが唯一の心残りですが、
勤務・企画共に学びの多い一年
でした。今後はcommonsの外でもこ
れまでの学びを活かしていきます。



2021 年 4 月 ⇒ 2022 年 3 月

活動報告書

工学部ロボット理工学科

杉山友望

参加した企画

・ コモンズ美活部 ・ キャンパスナビ

コモンズ美活部では心から笑い、相手に自分の意見を伝え、聞くことを意識した。
キャンパスナビでは、1人で駐車場の方に行きたくさんの方に話しかけられる行動力がついた。成長したことを改めて実感できた！！

今まで学んできたこと

- ・ 人とのコミュニケーション
 - ・ 責任感とは何か(反省中)
 - ・ 継続することの大切さ
 - ・ 話す力（発表や緊張する時）
 - ・ みんなのやさしさ
 - ・ 事務室の方々、不言実行館の方々と
のつきあい方
- 私の4年間の成長、感謝はたくさんあり書ききれません

あいさつ

私は、大学1年生の時からコモンズサポーターをやらせていただいています。初めの頃は考え方や気持ち、様々なことが分かりませんでした。しかし、4年やり遂げ何よりも周りとのコミュニケーション、人前で話すことの出来る経験、頑張ることの大切さを知り、自分の成長はもちろん、ほんとにたくさんの方々に支えられてきたことを実感しています。なので是非皆さんに最後までサポーターを続けてほしいと思います。ありがとうございました！！！！



2021年度 活動報告書

国際関係学部 国際学科 3年説田亜夢里

〈参加した企画〉

- ・新1年生の森 2021
- ・コモンズ美活部
- ・レインフォレスト・アライアンス等のマークについて考える
- ・コモンズシネマ

〈振り返り〉

2021年度の目標は、「挨拶」でした。私は元々声が小さいので、最初は声が通らなかったのですが、元気に挨拶をするということを意識するようになってから以前よりも声が出るようになったと感じました。

そして、2021年度は色々な企画に参加させていただきました。コモンズシネマでは、どうやって来てくれる人たちが楽しんでくれるのかを考えることが楽しかったです。皆でアイデアを出し合い、今回は『千と千尋の神隠し』ではクイズ、『ルパン三世 カリオストロの城』では、映画の解説を行いました。アンケートの感想で来てくれた人たちが楽しんでくれたことを感じて、とても嬉しかったです。

〈2022年度の目標〉

今年度が最後の年になるので、2022年の目標は、『積極的に人と関わる』ということを心がけようと思います。困っている利用者に積極的に関われるようにしたいと思います。昨年度よりもできることが増えましたが、人に教えることや機械の使い方、人と積極的に関わることなど苦手なことが多いので、苦手なことを少しずつできるように頑張りたいです。

そして、コモンズシネマではメンバーも増えたので、見に来てくれる人たちがより楽しめるような「様々なアイデアを出す」ということを目標に頑張りたいです。

コモンズ 活動報告書

国際学科 2 年

平山 快

勤務について

コロナの影響でほとんどの勤務にいけない時もありました。その中で業務内容を忘れてしまうこともあり、正直情けないと思うこともありました。その時は、先輩から聞いたたりマニュアルを読み返しました。

でも自分の欠点が勤務で分かることがあるので、解決の糸口がつかめました。



コモンズシネマ

千と千尋の神隠しから参加しました。イベントの進行を学びました。2回目は、自分も映画選びから参加して、司会を映画映像の解説も加えて行いました。解説は普段から意識せず見ている表現や描写を見てもらうことを意識しました。計画から実行する流れを一通り行い、修正や改善などのプロセスを学びました。

今後の目標

勤務中や報告の時に頭のイメージや情報を言葉にするときに一瞬、混乱することがあります。

ですが、映画解説の原稿を作るときに一度ワードや手書きの文章にしてみると、まとめることができるとわかったので、工夫して改善します。





活動報告書



人前に出る力



・人前で発表する事が大の苦手で、授業などで絶対にやらなくてはならない時以外は、人前で発表することはほとんど避けてきました。しかし、少しでも苦手意識を克服したいと思い、コモンズサポーターになりました。コモンズサポーターになってからは、コモンズ美活部「クリアポーチ作り」や新コモンズサポーター研修で司会を自分から引き受けました。仲間に練習を見てもらい、緊張を減らしていくように努力し、アドバイスをもらい悪いところを改善したりしてきました。その結果、人前で発表することに抵抗はなくなりました。

コミュニケーション能力



・コモンズサポーターになる前は、自分から話かけることが苦手でした。そこで、自分から人に話しかける事を目標としました。他の学科の方や目上の方と交流をする機会が多くありましたさらに、勤務中も話題を作るために「**まめ知識**」を調べてそのことについて、サポーター同士で話し合ったりしました。その結果、人と接することに慣れていき、さらにどんな風に話せばいいのかなどを考える力も身に付きました。



コモンズサポーター
英語英米文化学科 4年
齋場玲音

活動報告

【相手目線で考えることの大切さ】

人文学部英語英米文化学科4年 漣 知子

1: 活動当初

コモンズ初日は、サイネージの機器操作方法や不言実行館ACTIVE PLAZAの2階から3階までにある利用案内場所に記載されている各ブース(スチューデントコモンズ・ラーニングコモンズ)に設置されているフロアの名前を覚えるのに時間がかかりました。日々の業務や利用者さんからの依頼を受け持った際には、報告・連絡・相談を心掛けるよう勤務に取り組みました。活動当初は、インターンシップ経験の長い同期や後輩に、主な業務内容(日々カウンター業務・企画の運営・新入生や在学生対応)を一通り理解するために、活動当初は常にメモをとっていました。

2: 企画

本活動で行った企画は主に3つあります。1つ目は、4月初旬(4月4日~4月8日)に行った「キャンパスなび」です。講義室の場所が分からなくて困っている新一年生をサポートすることで、多くの人にコモンズサポーターの存在をもっと知ってもらいたいという思いで作成しました。この企画では、講義室の行き方を訪ねてくる学生にどれだけわかりやすく案内することを心掛けました。2つ目は、コモンズサポーター募集時に使用した自己紹介のパワポとコモンズのことについて同期のサポーターと協力して行いました。この企画時に工夫した点としては、人前でコモンズについて新サポに的確に伝える為に、通常の声よりも高く、はっきりと話すことに努めました。最後に、コモンズアンケートと個人面接・面接ブースのアンケートの作成を後輩のサポーターと協力しました。主に、コモンズを過ごしやすくするために利用者にアンケートに複数書いてもらい改善策を提示しました。利用者にどれだけコモンズという場を「学びの場」として使ってもらえるかを検討し、アンケート結果の掲示板の場所をサポーターと決め利用者が過ごしやすい環境に繋がることを日々心掛けました。

3: 成長

これまでの活動期間を通して、自身の成長に繋がったことをここに述べていきます。まず、コモンズに所属する前は同学部の方としか関わる機会がありませんでした。複数の企画の活動を始めてから、多くの学部の方と関わる機会に恵まれました。また、学生中心のインターンシップを通して和を広げたことにより、自分のコミュニケーション力の促進に繋がったと改めて実感しました。

四月に行われた「キャンパスなび」を通して、社会人としてのモラルや話し手にどれだけ客観的に考えるかがどれだけ大切かを学ぶことができ、自分の成長に繋がってよかったです。

4: 今後の自分

2の成長で述べたように、相手の立場になって考えることの大切さをこの活動を通して学びました。内定先でも、失敗を恐れず何事にも積極的に挑戦し、日々成長していきたいです。

活動報告書

コモンズサポーター 3年
人文学部 矢野梨花

七夕企画



私が初めて主体で行ったので、どのように企画を進めて良いか分からなかった。そこで周りの方に相談し、リストを作りそれに従い、行うことになった。やるべき事を明確化する事によって、計画性をもって準備ができた。自分で分からない事は、事務課の方やサポーターに協力を求めるのが大切だと気づいた。

コモンズSDGsワークショップ 「レインフォレスト・アライアンス等のマークについて考える」

この企画の一般の参加者がいなく、仲間内での開催となったため、参加者を集客する事の難しさを感じた。私自信も司会の役割以外の事は他のサポーターに任せてしまっていたため、積極的に行動ができていなかったと思う。そのため、企画に参加する時は自分の役割以外の事も気にかけて、より参加者の数が増えるような取り組みを行いたい。



勤務



限られた時間で何を行えば利用者のためになるか考える事が多かった。そこで、コロナがまた流行り始めた時は換気や机の消毒を積極的行ったり、利用者への挨拶を増やした。自分から行動を起こしていくと「この場所が汚かったな」など施設に対しての小さな気づきを見つける事ができた。そのため、今後も積極的に動いていきたい。

今後に向けて

来年度、私は最高学年になるため、今まで以上に主体性や積極性を持って活動していきたい。また、利用者の立場から考える視点を持ち勤務に励みたい。

コモンズで培った4つの強み

人文学部心理学科

コモンズサポーター4年山田真奈衣



パソコンスキル

多くの発表資料やPOPを作成する事によりパソコンスキルが上がった。注意喚起やサポーター用のPOPなど多くのパワーポイントを作成することができた。

コミュニケーション能力

サポーター間だけでなく利用者の方とも話すことができた。利用者が尋ねられた際に自分が答えるだけでなく会話を盛り上げるために話題づくりもできるようになった。



主体性

利用者が過ごしやすい環境づくりをするために新たなレイアウトを考え実際に動かしてみたり、企画で積極的に司会を行った。また、周りの様子を見ながらサポーター間で協力できた。

柔軟性

2階のレイアウトを考える際に、コミュニケーションを取れるエリアと集中することができるエリアなど様々なエリアを作成した。また、法律カフェでは多くの種類の飲み物を用意することにより気軽にかつ楽しく参加できる対策を考えることができた。



2021年度活動報告

人文学部歴史地理学科3年
池田拓生

良かった活動

新1年生の森2021

本企画では企画責任者として運営を務め、チームを纏める事に苦勞をしたものの、企画は成功し、参加者の中には現在サポーターとして活動している方もいる。

この活動を通じて、チームを纏める事の大変さと達成感を感じる事ができた。

オリジナル説明書作成活動

本活動では、メンバー全員に機器・機材の説明書を作って貰い、最優秀の説明書は全体に共有する活動を行った。この活動を通じて、サポーター全体の機材の説明力の向上に貢献する事ができた。

第10回法律カフェ

今回の企画では前回の法律カフェでの問題点を克服する事も行った。自ら受け持ったメールのやりとりの他に、サイネージ用の広告の作成やポスター掲示、当日は受付を行うなど、枠に捕らわれない積極的な行動力を行った。今回の活動を通じて前回の反省点を改善出来た事に満足した。

反省する点が多かった活動

第9回法律カフェ

前年度から企画を立案して責任者として動くことが多くあった為、本企画では久々のサポートの役回りであった。しかし、他のメンバーの積極的な行動力に圧され、勝手に意気消沈状態になっていた。次の機会がある際には、積極的な行動力を行い、チームの役に立ちたいと思った。

SDGs企画

本企画では再び企画責任者として企画の運営を行った。しかし、参加者はサポーターを除けば0人という結果を出した。

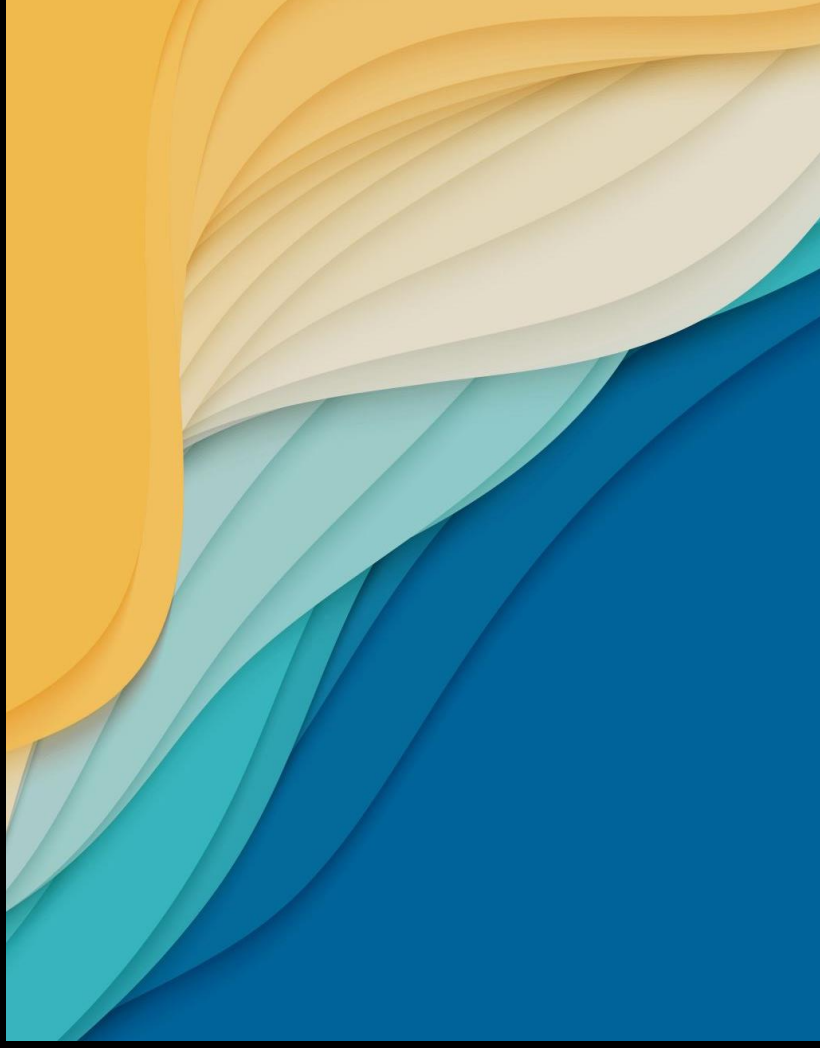
企画自体は失敗したものの、集まらなければサポーター内だけの勉強会に切り替えるといった状況に応じた柔軟な判断の必要性や自らも含むチーム内の問題など、振り返る事で得られたものもあった。今後はこの問題も少しずつ解決していきたい。

2022年度の目標

- ・積極的な行動力を今年度も継続的に続ける。
- ・マイナスな状況下でも圧される事なく、柔軟な対応を行う努力。
- ・他の模範となれるよう、節度ある行動を心がける。

2021年度の振り返りで出た良い点と悪い点を総合的に踏まえた上で

2年生 歴史地理学科 小幡乃亜 活動報告ポスター



◆サポーターの活動を通して学んだことなど

私がここまでコモンズサポーターを学内インターンシップとして行ってきた気づいたことは、様々なことが学べることです。まず仕事において見る様々な道具に触れることで機器の操作方法を学びました。また、日報を記入にすることによる内容要約、それを引き継ぐためにどのように話せばよいかなど、相手に分かやすいように丁寧に伝える練習にもなっています。今後も活動に積極的に取り組んでいきたいです。

◆企画の参加など

私は、自分の得意なことを企画に使っていくことができました。クリスマスの飾り付けなどでは折り紙が得意だったので、積極的に利用して参加することができました。これからも自分のできることを生かしながら取り組んでいきたいです。

◆自分が行えたことなど

このことについては私自身、コンピューター関連のことについて関心があったので、コモンズ内で起きたパソコンなどのトラブルについて対処ができました。

この1年間を振り返って

応用生物学部 応用生物化学科 3年
城戸 瞭

【新1年生の森2021】

新1年生の森のグループ活動に当日参加した。

お互いにどのように交流していけばよいのかわからない参加者に、質問を積極的に行って話のきっかけを作り、コミュニケーションを取りやすくなるよう試みた。参加していた学生がコモンズやサポーターに興味を持ってくれたので、企画に少しでも貢献できてよかったと感じた。

【勤務】

□ 学生や目上の存在である教職員の方とお話する機会が多くあった。

✓ 時と場合に応じてどのような対応を行えばよいのかを学ぶことができた。

□ 機器のマニュアルやキャビネットの備品管理表、POPなどを作成した。

✓ マニュアルはなるべく文字を少なくして、写真を多く用いて手順をわかりやすくし、コモンズのブースのPOPは文字の大きさを何段階かに分けたり、色や下線を引いたりして、伝えたいことの優先順位を変える工夫をした。

□ サポーター間の情報の伝達や事務課からの連絡などで自分の「報告・連絡・相談」が不足していた時があった。

✓ 相手に伝わりやすいような文章を書くよう心掛けるように、5W1Hを意識して現在取り組むよう心掛けている。

【まとめ】

➤ やるべきことを率先して見つけ、あらかじめ期日を定めてそれまでに終わらせるなど、物事に対する取り組みのスピードを重視していきたい。

➤ 自分に足りない能力や習慣・癖（報連相など）、もう少し伸ばしていきたいところを見つけたので、来年度はこれらを意識して自分の成長につなげていきたい。

➤ 行動を起こす際に方法ばかり考えてしまい、何が目的なのか見失ってしまうことがあったため、常に目的と理由を念頭に置いて行動していきたい。

Activity Report

2021年度 第7期コモンズサポーター 応用生物学部 応用生物化学科 2年 伊藤秀美



プレゼンスキル UP

第7.5期募集説明会で司会を担当した。リハーサルを何度も行い、先輩サポーターからアドバイスをもらいながら、一生懸命準備を行った。当日はとても緊張したが、多くの学生にコモンズサポーターの魅力を感じてもらいたい、という強い想いで司会をすることができた。

人前で発表するという貴重な体験をし、発声や声の抑揚で気をつけるべき点をたくさん学ぶことができた。



Power Point スキル UP

第8期コモンズサポーター募集説明会で掲示されるポスター、スライドの作成を行った。どうすれば多くの人の目に留まるようなものを作れるのか、ということを試行錯誤しながら作成していった。

募集説明会に参加してくれた学生、応募用紙を提出してくれた学生が例年よりも大幅に多かったため、コモンズサポーターという組織の宣伝に、大きな力になれたと思う。



コミュニケーションスキル UP

「新1年生の森2021」と「コモンズ美活部」という企画に参加した。より良い企画を作っていくためのサポーター同士の意見交換、本番当日での参加者との会話を通して、コミュニケーションスキルの向上につながった。大勢の他学科・他学年との交流は滅多にない経験であったため、どちらの企画も印象深いものだった。

参加者との会話の広げ方は自分の想像以上に難しく、なかなか上手く行えなかった。しかし、当日の先輩サポーターの会話の様子を見てコミュニケーションの取り方を学ぶことができ、良い刺激となった。



まとめ



この1年間で、自分の得意分野と苦手分野について気づくことができた。得意であるポスター、スライド作成にこれからも積極的に携わり、コモンズサポーターの活動宣伝に貢献し続けていきたい。また、来年度ではコモンズサポーターとなって2年目になるため、1年間で得た3つのスキルをさらに向上させるとともに、まだ力不足である「伝える力」を身につけていけるよう、日々の勤務・企画に意識して携わっていきたい。



2021年度 活動報告

応用生物学部 応用生物化学科

2年 尾崎花波

参加した企画

- ・ コモンズサポーター募集説明会
- ・ コモンズ美活部
- ・ コモンズツリー2021

など・・・



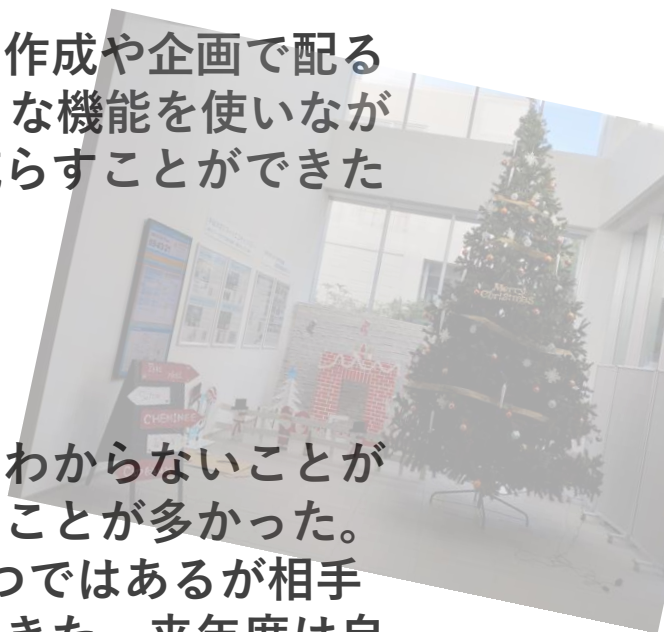
勤務を通して

いつでも笑顔で元気に活動すること、周りに気を配ることを意識して活動した。新型コロナウイルスの影響による緊急事態宣言で思うように勤務に入れないこともあったが、自分に自信を持てるように色々なことを予め考えるようになった。利用者と話す時には、緊張もあり、たどたどしくなることも多かったが回数を重ねる間に少しずつ話せるようになった。

私はパソコンが得意でない。しかし、議事録の作成や企画で配る配布資料などを作る中でWordやPowerPointの様々な機能を使いながら覚えていくことで少しではあるが苦手意識を減らすことができたのではないかなと思う。

今後の課題

今年度は勤務や企画についても始めてなこと、わからないことが多く、先輩サポーターに頼ったり、聞いたりすることが多かった。この1年間のサポーターの活動を通じて、少しずつではあるが相手の様子を見ながら話すことができる機会が増えてきた。来年度は自分のことだけでなく、相手や周りを見てコミュニケーションを取ったり、行動をできるようにしていきたい。また、パソコンは得意でないので今後も積極的に使っていきたい。



コモンズインターンシップ活動報告書

応用生物学部食品栄養科学科 4 年 芝高亜実



～3年間の成長～

これからは社会人として、
コモンズで身に付けた力を
たくさん活かしていきます！
※今現在とは違った私のフォルムも
お楽しみください



～1年目～

自分の意見を積極的に
言えるような人になりたいと
思い、始めたサポーター生活！
唯一の1年生として参加した

Fil2019は大変なこともたくさんありましたが
私のスピーチで笑いが取れ、
3位という結果も頂けたことが
嬉しかったです！



Up!!

会議や企画の司会で人前で話す力

～2年目～

リーダーを半年間務めたものの
想像以上の仕事の多さに悩み、
無理をし過ぎてパンクしてしまいました。(涙)
人に頼る事や、自己管理がきちんとできた上で
仕事を引き受ける事を覚えました。
司会やイベントの主担当で状況に応じた
対応を心掛けることで臨機応変に
行動する力が身に付いたと思います。



講演会やイベントでの遂行力・アドリブ力

Up!!

～今後は～

やりたいことが多すぎた大学生活。
悩みながらも最後まで粘り強く、
続けられました。

3年間サポーターを続けても
自分の根性とメンタルの強さは
サポーターになる前から
変化していないと思います。(笑)
コモンズの仲間、職員の方のおかげで
普通の学生だったらできなかった
多くの経験ができ、
自分を成長させることができました！
社会に揉まれても、自分を見失わず、
努力する事をここに誓います！

～3年目～

先輩サポーターとして、
私の話しやすい雰囲気(?)を活かし、
良き相談相手となれるよう
後輩サポーターと積極的に
コミュニケーションを取りました。
企画にもできる限り参加し、
後輩サポーターと活動できたのが
楽しかったです。

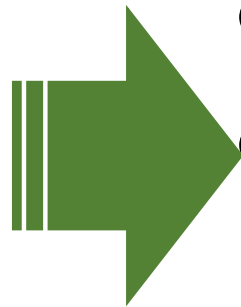


コモンズでの取り組みと成長

4.5期コモンズサポーター 生命医科学科・4年 武田祥也

1. 今年度を振り返って

- リーダーの一人として
- トラブルレポートの管理、共有
- 情報共有ガイドラインの導入
- OJTでの必須項目以外の経験の共有



- コモンズサポーターが学生に必要とされ続ける立場であるために
- コモンズ・インターンシップを成長に繋げるために
→すべきことを考えた。

2. 主な取り組み - トラブルレポートの実践

- トラブルレポート件数はミスではなく、より良い対応方法を模索するための、組織内の基準と規定している。
- 2021年度の報告件数は8件で、前年より3件増加した。これはミスが増加したわけではなく、サポーター内で細かな気配りができるようになってきた傾向だと考えている。しかし目標としていた12件には及ばなかった。
- 昨年度の報告件数はコピー機での発生が最多であったが、今年は受付や施設の使用方法に関する改善点が増加した。

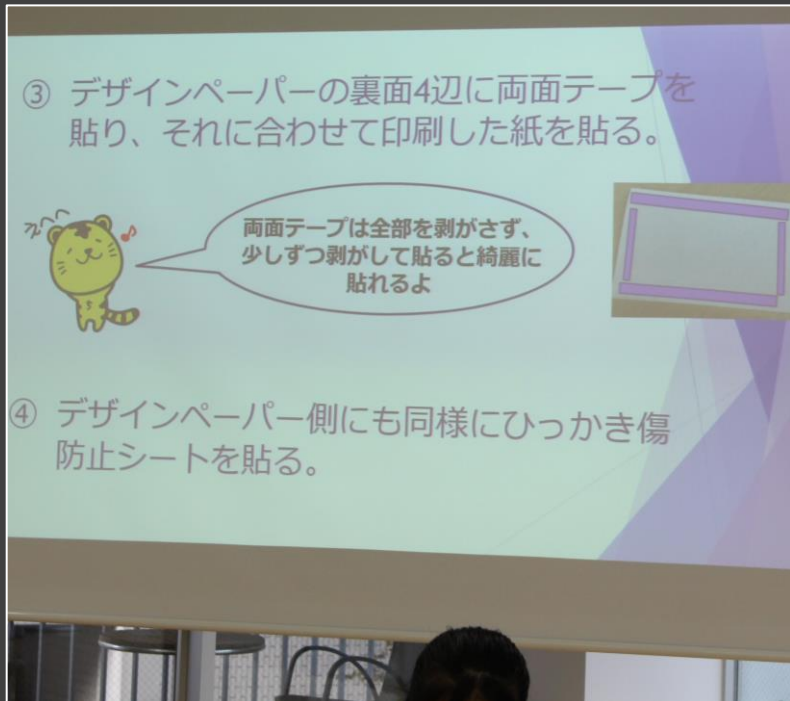
3. 主な取り組み - 情報共有ガイドライン導入

- 加入当時から、情報共有の難しさについて問題視されていた。2020年に参加した学外の学生団体同士の交流会において、どの団体も情報共有に問題を抱えていることを知った。
- 全体会議欠席者への情報共有について、サポーター内から改善点が提示され、今回の発案に至った。
- 導入は、有志のサポーターを募り、意見を聞きながら調整した。
- 現在、当初の目的であった全体会議に関する問題は改善傾向にある。
- 今後、モニタリングが必要と考えられる。

5. 反省と今後

- 昨年の活動報告では、「サポーターの原動力となれるよう、挑戦を続ける」と宣言した。
- 挑戦や積極的な活動はしてきたが、以前に宣言した「原動力」にはなれなかった。数ある原因のうち、見通しの甘さがあった。
- この1年で、「自分で考えたことを行動に移す力」を得られた。
- 今後は、困難に相對する可能性を想像し、それを打ち破っていく力を身に付けていきたい。

▼新1年生の森2021の様子



▲コモンズ美活部で使われたスライド



▲キャンパスなびの様子

活動報告

学生サポートセンターインターンシップ



コモンズ美活部

コモンズ美活部では、アイズブレイクを担当しましたが、当日参加できなくなってしまうため、当日使うスライドを作りました。ポーチの作り方についてのスライドは、わかりやすく、最低限の短い文章で書くことを心掛けました。

第三者に伝わるように資料を作る大変さがわかりました。

キャンパスなび

キャンパスなびでは、講義室の場所だけではなく、電車の遅延が発生した場合はどうしたらいいかを聞かれました。想定外のことを聞かれて戸惑いましたが、臨機応変に答えることができました。

困っていきそうな人がいたら挨拶をしてから声をかけ、挨拶をすることの大切さを改めて実感できました。

新1年生の森2021

コモンズサポーターになってから初めて参加した企画が新1年生の森2021でした。はじめは、参加者と一緒にレクに参加していましたが、途中からは参加者のサポートをしました。

この企画を通して、複数のグループの進行状況を見ながら企画を進行することの難しさを知ることができました。

活動報告

コモンズサポーター 6期生

生命健康科学部 生命医科学科 3年丸山喬士



コモンズサポーターになった理由

コモンズサポーターになった理由は「コミュニケーション能力の向上」「社会人としての知識や経験を得る」この2つである。とくにコミュニケーションについては人見知りが激しく、初対面の人と話すことがほとんどできなかったため改善したいと考えていた。

成果

勤務や企画、説明会など人と接する機会が多く、初めは聞かれたことに答えるだけでも苦労した。しかし、経験を重ねるうちに人と話すことへの抵抗が無くなり、次第に相手に伝わりやすい工夫をするなど思いやりの心を持って対応することが出来るようになってきた。実生活でも困っている人に声をかけることが出来た。以前の自分ではできなかったことなので成長を実感することが出来た。

課題

コモンズサポーターを志望した理由である「コミュニケーション能力の向上」「社会人としての知識や経験を得る」これらの目標は達成することが出来た。しかし、コモンズサポーターとして働いている間にできた「積極的な行動をする」という目標については未達成であった。勤務期間中に達成することは出来なかったが、これからの生活でコモンズサポーターとして得たことを活かして積極性を高めていきたい。

まとめ

コモンズサポーターとして活動し始めた頃には出来ないことばかりで、3年後の社会人生活をともに過ごせるかを心配していた。しかし、コモンズサポーターとして過ごした2年で社会人生活のスタートラインに立てる程度には成長することが出来たと感じる。これまでの活動で得たことや新たな課題を忘れることなく、これからの成長につなげていきたい。

工学部機械工学科
4年 長谷川 巧



自分自身 併設校生徒・在校生 全体が一体となって成長する。

【活動】

学生サポートセンター日進分室(進学支援室)での中部大学第一高等学校の生徒へ向けて支援を行いました。他にもガイダンスや本大学在生向けの支援室の活動も行いました。

【キャンパスサポーターでの考え】

相談に来る1人1人は様々な問題をもってきます。その中で自分達はなにができるのかどのように接すべきなのか考え、安心してもらえるように行動しました。また、現状を常により良い方向に改善していくことが大切であると考えます。

【自分自身】

人とのコミュニケーションについて考えられる良い経験が出来たと感じました。これからも更なる自己研鑽に励み自分自身を成長していきたいです。

学生サポートセンター
日進分室(進学支援室)の設置



2021年度キャンパスサポーター活動報告書

都市建設工学科・3年 伊藤大賀

進学支援室の実施

進学支援室
とは

高校生の進路に関する悩みを解消するため、高校を訪問する形式で6月から月1回を目安に実施

高校で個人面談が実施された7月は利用者が多数いたものの(図1)、それ以外の月では利用者が少なくESD部やロボット部などの文化部を訪問する形で実施した月もあった

4月	未実施	10月	参加者小
5月	未実施	11月	参加者小
6月	参加者小	12月	参加者小
7月	参加者多	1月	中止
8月	未実施	2月	未実施
9月	未実施	3月	未実施

図1 進路支援室の開催状況

よって

利用促進のための改善を図っていく必要がある

具体策

- ・生徒が面談など進路について考える機会に合わせて実施すること
- ・従来の進学支援室と合わせて勉強会を実施することで参加者数の増加を図ること
- ・定例日にすることで周知徹底を図ること

活動の所感

○今まで経験してきたイベントは予め定められた制約の中で自由に企画の立案及び実施ができるものであった
➡しかし今回の活動では高校側(相手)との協力が必要不可欠な活動である
したがって日程の調整など何が制約であるのかを自ら考えながらの活動となった
社会生活ではこうしたイベントの立案が多いのでこの経験を生かしていきたい

併設校生徒・出身者へのサポート

人文学部日本語日本文化学科 4年 丹羽和寛

1. 今年度の活動

- 今年度は、新型コロナの影響が一部あったものの多くの活動が出来た1年間であった。
- ①学生サポートセンター日進分室（進学支援室）の設置
日進市と春日井市は距離があり交流がしにくかったため、気軽に現役学生と話せる空間を作り、大学を身近に感じて欲しいと思い、中部大学第一高等学校に設置をした。月1回サポーターが訪問を行なっている。
 - ②第二学年進学ガイダンスへの参加
昨年度同様に、第一高校にて2年生の大学進学希望者に向けたガイダンスを行なった。
 - ③学生サポートセンターの利用促進に向けたポスター掲示（中止）
春日井市内を走るスクールバス車内にサポートセンターの利用促進に向けたポスターの掲示計画をしていたが感染状況などを考慮し中止した。
 - ④第一学年文理選択ガイダンスの開催（中止）
第一高校の1年生に向けて文理選択に関するガイダンスを計画していたが感染拡大に伴い中止した。



●進学支援室（中部大学第一高校 教室にて）

2. 今後の課題

より柔軟に対応する力を持つことが必要になってくると考える。感染状況に応じた方法での支援室の開催やポスター掲示など様々な方法を、今後は模索していくことでより活動の幅が広がっていくのではないかなと思う。

今年度は進学支援室が主な活動となった。6月に活動を始めたが、進路選択や入試前には多くの来室者がいるものの、それ以外の時期の来室者が非常に少ないという課題が見えてきた。次年度以降は、宣伝方法や開催方法などを工夫していくことが必要になってくると思う。

また、新たな活動にもチャレンジが出来ると良いと感じている。

3. 今年度を振り返って

今年度は、昨年度できなかったキャンパスサポーターの『基礎作り』に力をいれた。様々な活動や企画を行い、次年度以降の土台を作ることができた。この『基礎』をもとに次年度以降の活動に生かしてもらえたらと思っている。2021年はキャンパスサポーターが発足してから2年目ですが、昨年度は新型コロナウイルスの影響を受けほとんど企画や活動ができなかったため、本年度は多くの新しい挑戦ができた1年間であった。しかし、本年度も新型コロナウイルスの影響が一部あり思うように活動が出来なかったこともあったが、それでも第一高校の教職員の方々や事務課の方のご協力もあり様々な活動が実現したことはキャンパスサポーターにとって大きな一步になった。

私は4月以降、立場は変わるが今後もキャンパスサポーターの力に少しでもなれればと思っている。



●進学ガイダンス（中部大学第一高校 体育館にて）



Chubu University Daiichi High school

Nissin Kasugai

繋ぐ繋がる



Chubu University

キャンパスサポーター記録

英語英米文化学科 三年 野村知希



キャンパスサポーターは高校生に向けての仕事が基本的であるため、進路相談室がコロナの関係で中止になるなど仕事が上手くいかないことがあった

相談室開催の定着化が進まない

⇒高校生に対する認知度が上がらない

【改善案】

Zoom を用いた
活動の遠隔化で
開催を定着させる！

まだ課題が多い

12月に行われた併設校の高校2年生に向けての説明会では受験までに「何をやっておくべきか」などを伝えた。

そこで質問用紙を配布したが答える人はごく一部でより質問を受けられるような体制の整備にも着手できるように考えたい。

今後新たな業務も増えていくことになっている。つまり、高校側にも気を配りながら在学生に向けての対応を考えていく必要があるため、これまでとは異なり、新たなことへの挑戦もしていくことがさらなる成長を期待できる。

中部大学春日丘高等学校野球部学生コーチ活動報告

生命健康科学部スポーツ保健医療学科4年

桜井 貴一

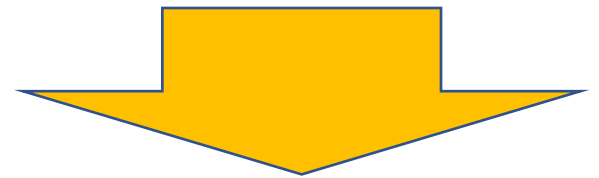
【活動内容】

- ・ 指導・ノックを打ったり、練習メニューを考えたりする。
- ・ 試合への帯同・遠征企画。
- ・ 兄のような存在となり、野球だけでなく様々な相談にのる。



【1年目と2年目の変化】

- ・ 自分からコミュニケーションをとっていた。
- ・ 様々な立場の方と会話。



【最後に】

- ・ 今回のインターンシップから得た経験をこれからの社会人生活に生かしていきたい。
- ・ 将来的には、少年野球や中学野球の指導者になり、野球だけでなく人として成長させることができるようになりたい。
- ・ 今回の経験から指導者としての1歩を踏み出すことができた。
- ・ この1年半、新型コロナウイルスの影響で高校野球は大きく変化した。改めて野球ができる喜びや幸せを感じた。無観客で試合を見られない時期もあった。有観客となり、球場に来た人が喜びの涙を流すのを見た。高校野球の与える影響力を目の当たりにした。
- ・ 野球は常に進化し続け、考え方や技術など選手だけでなく指導者も勉強し続けなければいけない。選手と共に成長し、選手に指導することで自分の行動や言動を意識する。人としてとても成長できたインターンシップであった。

- ・ 1年目、自分からコミュニケーションをとったことで選手からも話しかけやすくなり、選手からの相談や話を聞いてくれることが増えた。
- ・ 様々な立場の方と会話をすることで自分を表現する力、質問された内容に適した返答をする力がつき、就職活動の面接で評価された。



活動報告

工学部 機械工学科
1 年 小久保友誉
7.5 期生
コモンズサポーター

File 1 この半年間を振り返って

2021 年度の秋学期からコモンズとしての活動が始まった。

OJT を通して仕事を覚えるとともに、一早く先輩サポーターに近づけるように、メモを取ること、積極的に質問することを心がけた。

その後、実際に勤務に入ると学生の利用状況や、自分が利用者だったらどうあってほしいかを考えるようになり、そこから利用者への対応の態度や消毒や備品の補充を積極的に行うなど OJT では無かった多くの気づきや学びを得られた。

今後とも小さな発見を繰り返し、自分のスキルにしていきたい。

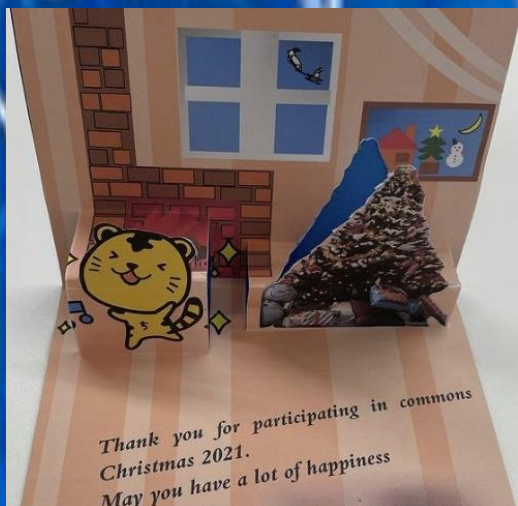
File2 企画

参加した企画

- ・ 法律カフェ
- ・ サポーター間の情報共有に関するガイドライン作成
- ・ 第 8 期サポーター説明会
- ・ コモンズツリー2021

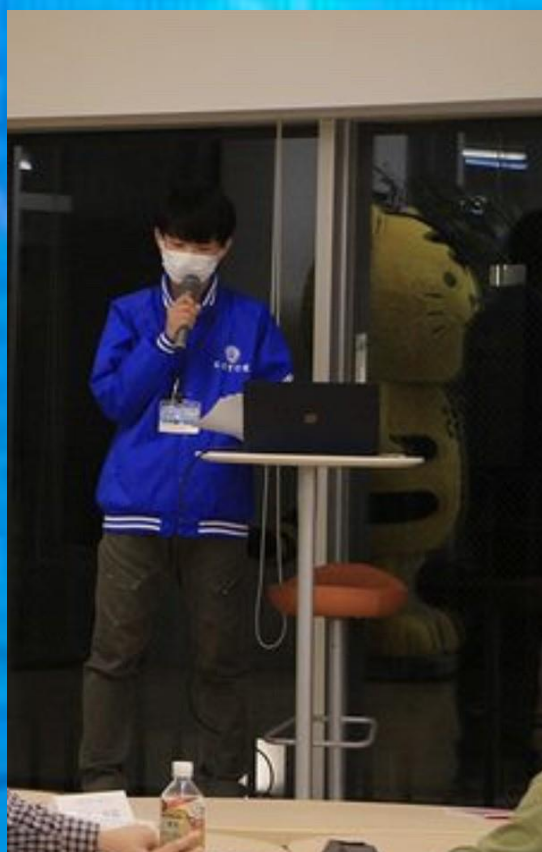
企画を通して身につけたスキル

- ・ word, power point を使った資料、スライドの作成
- ・ 人前で発表する能力の向上
- ・ 準備～本番までの日程管理



File3 今後について

- ・ 新しくサポーターが入るため、「新サポ」から脱却し、自分から行動・発言をしていきたい
- ・ サポーター間のコミュニケーションを大切にし、協力できるようにする
- ・ 引き続き感染対策(消毒など)を徹底し安心して使用できる施設にする



活動報告

コモンズツリーや法律カフェに参加することや第8期募集説明会で司会を務めることで様々な経験を積んだ。

コモンズサポーターになってから新しいことに挑戦できようになった。企画に参加することで他のサポーターと仲良くなり、先輩から様々なことを教えていただいた。

「一期一会」・皆に出会えて本当に感謝している。

これからも頑張り、コモンズで皆と素敵な思い出を作りたい。

工学部情報工学科

1年 アイシ

活動報告

経営情報学部 経営総合学科
3年 深田康聖

<勤務>

勤務では、多くの方々とコミュニケーションをとる機会がありました。これを通じて、自身の話し方や聞き方の改善すべき点に、気づくことが出来ました。

特に、自分だけでは気づけなかった部分を先輩方から教えていただき、とても大きな学びになりました。

<企画>

コモンズツリー2021と8期募集説明会に参加しました。これらの企画からは、グループで活動を進めていくことの重要性を学びました。ミーティングを行い、意見を出し合ったことで、より良いアイデアが生まれたと思います。

また、日時によっては全員が集まれないといったことが起き、グループ活動の大変さも実感しました。

<来期に向けて>

来期は、コモンズシネマとコモンズレポートに参加する予定なので、グループでの協力をより大切にしていきたいと思います。

コモンズツリー2021



活動報告～2021～



法律カフェ

私が初めて参加した企画が「法律カフェ」です。今回扱うテーマとして、自分が提案した“デートDV”が採用されたのがとても嬉しかった出来事でした。最近はこの問題について悩んでいる人も多いという情報を得ていたので、企画に参加してくれた人へ知識を深めてもらえたらなという思いで立案しました。担当したのは入場者の受付表・確認リスト作りだったのですが、Excelでただ与えられた情報を打ち込むのではなく、過去にどうやって作られたのか、サポーターの意見やデータを参考にしながら行いました。全て自分がこなすのではなく、様々な人から情報や意見を聞き出し、参考にすることがとても大切だと学ぶことができました。



第8期学生サポーター 募集説明会

同期のメンバー2人と共同作業で取り組みました。私は冒頭の挨拶と自己紹介を担当しましたが、いざ大人数を前にすると頭が真っ白になりかけ、心臓がバクバク脈を打ち、息が詰まりそうな緊張感に苛まれてしまいました。すると、メンバー2人が「大丈夫」「練習したからあとはやるだけだよ」と声をかけてくれたのです。そのおかげで、まっすぐ前を向いて話すことができました。この説明会で、自分は出来るという“過信”を一番してはいけないと改めて自覚しました。次にこういった機会があれば、入念に練習を繰り返し、大きな声でハキハキと話せるよう意識しようと思いました。

人文学部 日本語日本文化学科 3年
7.5期コモンズサポーター 土土田愛美

コモンズツリー2021



この企画になかなか予定が噛み合わず、参加が難しかったこともあり、せめて大変な作業となる準備や飾り付けにはと思い携わりました。同期のメンバーが早い段階から進めてくれていたことに感謝しながら、ツリーの装飾や意見を出し合い作られた暖炉に雪だるまの絵が描かれた瓶など、例年とは違う7.5期の良さが詰まった配置をしていきました。外は大雪という状況下の中で、数時間にも及ぶ準備の末に完成したツリーを見た時に、大きな達成感を味わうことができました。たくさんの人と目標のものを作るという体験をさせていただき、利用者がツリーなどを笑顔で写真を撮ってくれている光景を見て、とてもやりがいを感じました。

第8期サポーター 研修



現在進行中なのがこの企画です。担当は受付業務になりました。私がコモンズサポーターになってから、慣れるのに苦労したのがこの業務でした。最初はマニュアルを見たり、先輩の動作や言葉遣いやスピードを観察しながら覚えようとしていました。しかし、テキパキとしたことが不向きである私にとって、この業務は思っていたよりも時間がかかってしまいました。何度も失敗しましたが、回数をこなすほどスムーズに対応できていることに気づきました。このように、自分が教える時はその人のペースに合わせながら、できるだけ多くこなすことで慣れさせていくようにしたいと思いました。

～今後について～

私がコモンズサポーターを志望した理由は、コミュニケーション能力の向上と積極性を身に付ける為でした。しかし、挨拶から始まり礼儀や人と話す難しさや楽しさ、自分ですら行動することなど、目的以上のものと一緒に学ばせていただいています。けれども、最近は現状維持でいいと思う場面もありました。そう思うしまう理由として、自分をこれまで以上に成長させて貰える環境で、一通りを覚えたことからくる安心感。“もっと高みへ目指したい”と願っていたはずが、このままでいいと思ってしまう甘えた気持ちがあるのではないかと思います。この気持ちのまま終わっていいのだろうか。そう自身に問いかけると、折角の貴重な経験を無駄にってしまうという悔しさが沸き上がってきました。これからは、目標としていた「コミュニケーション能力の向上と積極性」を意識しつつ、どんな場面であっても対処出来る俊敏さ、気持ちよくコモンズを利用しただけのような配慮、そして向上心を維持し続けていきたいと思います。

HAPPY
2021
NEW

7. 5期 コモンズサポーター
人文学部 日本語日本文化学科 応雨静

活動報告書



コミュニケーション力

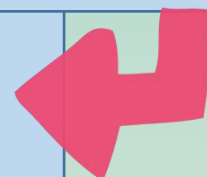


コモンズサポーターになってから、様々な企画に参加しました。コモンズツリーやサポーター募集説明会、法律カフェ、コモンズレポートなど、多くの企画で、他のサポーターたちと話し合い、自分の考えをはっきり伝えるようになりました。言いたいことを言うだけでなく、聞き手も分かるように努力しています。今後も、サポーターとのコミュニケーションをもっと取られるように努力していきます。



考え方

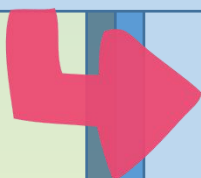
「言われたら動く」ではなく、「自分は何ができるのか」念頭に置きます。自分の成長を求め、意欲的に業務につきました。また、業務をうまく成し遂げるため、周りを観察し、求知心を常に持ち、情報交流に重要視しています。知らないことを積極的にサポーターの先輩たちに聞くようにしました。



p c の運用



企画に参加する際に、パワーポイントやポスターなどを作成しました。デザインしたり、絵を描いたりして、自分の特長を発揮でき、p c の運用もより上手になりました。今後も企画を通していろいろなソフトウェアの練習を続けていきます。





活動報告

人文学部 日本語日本文化学科

1年 李 龍児

動機

コモンズを知る最初の機会は先輩からでした。先輩から簡単な説明を教えてもらいました。自分は日本語を勉強して、翻訳に関する仕事を目指しています。自分が教科書で勉強した日本語以外、すなわち、フォーマルではなく、ネイティブな日本語に触れる機会を探していたので、コモンズはそのチャンスと思い、入ることに決めました。知道Commons第一个机会来自我的前辈。我她那里得到了一些简短的解释。我正在学习日语，并以翻译相关的工作为目标。在这之前，我一直在寻找机会接触日本本土的，不是我在教科书中学习的正式的日语，所以 我认为加入Commons正是这个机会。

経験

入学したときは、ワードやパワーポイントなどの作り方をほとんど忘れていました。特にパワーポイントは、通常の授業での小さい発表以外、あまり作ったことがありません。教師は、パワーポイントについての問題点はあまり教えてくれません。そのため、私はパワーポイントの作成は上手ではありませんでした。

入学時、我基本上忘记了如何制作word和 PowerPoint。特别是PowerPoint，除了常规课堂上的小发表以外，我没有制作过太多 PowerPoint的机会。老师也并对我做出太多关于 PowerPoint 的问题的指出。因此，我很不擅长制作PowerPoint。

新サポーター募集説明会のとき、パワーポイントの作成を担当しました。先輩たちのパワーポイントを多く参考にしながら作りましたが、自分が様々なデザインを試すこともできました。先輩からすごく丁寧に問題点を指してもらいました。文の切り方や日本と中国で使うマークが違うことも知ることができたので、とてもいい経験になりました。

在招集新成员的说明会时候，我负责了PowerPoint的制作。最然很大一部分有参照了学长们去年的PowerPoint，但是，我自己也做到了尝试各种各样的小设计。从学长们得到了很多细节上的纠正。比如句的切断方法，还有中国和日本在符号使用上的一些习惯也不一样。我在这个过程中得到了非常好的经验。

個人目標 に対して よいところ

毎月の全体会議も私にとっていい経験です。まず、会議の内容を理解することを前提として、自分を体だけではなく、精神的にも会議の中に参加することは私にとっても挑戦です。日本人の大学生同士の会議の雰囲気の違いも気づきました。このような微妙な違いを知り、日本の社会文化がよりわかりやすくなりました。自分の翻訳力をアップすることができます。

毎个月的全体会议对我来说也是很好的经验。首先，以把会议的内容理解为前提，不光自己的身体参加，更是让自己的精神层面也参与进去对我来说也是一种挑战。日本大学生之间的会议和中国也还是有一定的不同的。对于这种微妙的不同的理解，我可以更好的理解日本的社会文化。自己翻译的能力也可以有所提高。

活動報告

学んだ事

- ・利用者への対応の仕方
コピー機の使い方がわからなかったりして困っている方や、昼寝をしている方の起こし方など、声のかけ方について知りました。
- ・プロジェクターなどの機材の使い方
プロジェクターやサイネージなどの立ち上げ方やデータの読み込み方などの操作方法について知りました。
- ・企画、運営の大変さや難しさ
計画通りには中々上手く進まないこと、特にミスをしないことや連携して効率よく行うことの大切さを知りました。

工夫した事

- ・受付が無人になる時間の短縮
消毒を行うのと同時に机の上の整理整頓を行うことで、傷などの不具合に気づきやすくなりなおかつ、受付に人がいない時間が短くなりました。
- ・換気
2Fの窓は3Fの窓とは違い、開ける窓が決まっていません。そのため出来る限り利用者が寒い思いをしないよう、換気のために開ける際は利用者が少ない側の窓を開けるようにしています。

困った事

- ・落とし物
利用者に「名鉄で落とした落とし物はどうすればいいのか？」と聞かれたとき、まさかそんなことを聞かれるとは思わず上手く答えられませんでした。
- ・消耗品
2Fのホワイトボードマーカーのインクが無くなった時、予備の在庫も無くて困ったことがあります。その時は3Fから借りることで乗り切りました。

成長した事

- ・他人への声かけ
今まで困ってる人を見かけても、どう話しかけたらいいのか分からなくて見て見ぬふりをしていました。しかし利用者対応を行ったことで、少しは声掛け出来るようになりました。
- ・企画、運営
今までイベントに参加したことはあっても、それを運営したことはありませんでした。ですが自ら企画に携わったことで反省点も多いですが、なんとなくやり方をつかむことが出来ました。

コモンズ活動報告

応用生物学部
食品栄養科学科
1年
7.5期サポーター
村上奈菜香

活動を通して

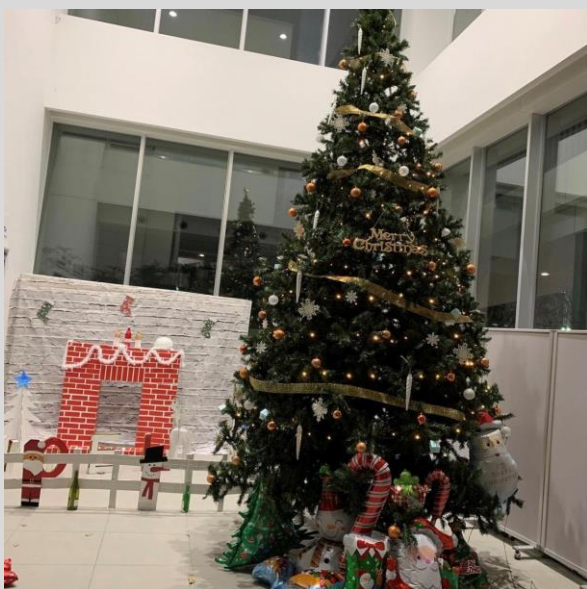
一瞬で終わった?! ハードな半期とは

私がコモンズサポーターになってすぐに「2020年度新入生記念品贈呈式」のメッセーじカードを作る仕事をした。先輩と入念に連絡を取りながら作成し、遅くまで残って準備をした。記念品贈呈が始まり、メッセーじカードがついたトートバックを受け取る2年生をみるとうれしい気持ちになり、達成感があった。



次に、法律カフェに参加した。テーマを決めることから打ち合わせに参加し、アンケートを作り、アンケート結果をまとめる役割を果たすことができた。企画を運営する側の大変さを身をもって感じることもできた。そして、クリスマス企画を7.5期サポーターでやってもいいという話をいただいた。正直不安しかなかった。毎年行っているものだから企画としては考えやすいと思った。打ち合わせをして企画書を書くところまでは順調だった。が、ツリーを購入するのになかなか決まらなかった。ブルがあつて大変だった。

最後に、8期の募集説明会の司会をすることになった。サポーター以外の前で発言するのは初めてだったため緊張したが、たくさん練習して何とか乗り越えることができた。研修やOJTも頑張りたいと思っている。



私は、コモンズサポーターとしての活動の中で何かの責任者をしたという目標があったが、クリスマスの時にその経験ができたのが自分の中で大きく、これから自信に繋がった。また、人前で堂々と発言したり自分の意見を率直に伝えたりすることが得意ではないためこれからの活動で意識しながら積極的に行動していきたいと思っている。そして、リーダーになって、7.5期以下の意見もこれからのコモンズに活かせるように仲介的な役割で活躍したいと思っている。すべての行動に責任を持ち、周りに頼られるリーダーになれようと思っている。張りたいたいと思っている。

活動報告書

応用生物学部
食品栄養科学科
管理栄養科学専攻
1年 山田理未佳

法律カフェ

サポーターと先生とのやり取りをメールで転送した。
メーリングリストの使用方法を知ることが出来て良かった。
初めての企画だったが、企画の進め方を学べた。
主体的に動くことが出来なかった。



新サポ募集説明会

説明会当日までに原稿の打ち合わせやリハーサルを何度も行ったため、緊張はしたがハキハキと話すことが出来た。
もっと聞いてくれている人の反応を見ながら話せたら良かった。

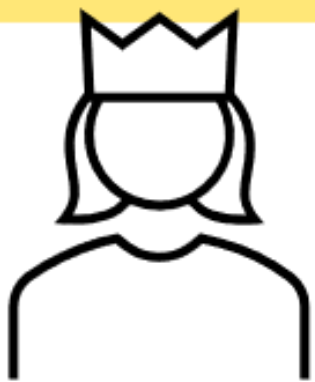
コモンズツリー2021

今年は4.5メートルのツリーを購入することになり、広報課と交渉し、購入することができた。
また、ツリーの飾り付けや2階の飾り付けを行った。
他の企画に比べ、自分の意見を言うことが出来た。
予定通りに進まないことが多く、計画を立てる難しさを知った。



現在→今後

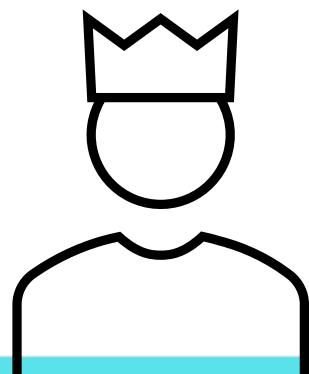
人前で話す事や打ち合わせで自分の意見を言う事が以前よりできるようになった。
人の指示を待って動くことが多かったので、自分の出来る事を探して行動できるようにしたい。



コモンズサポーターに聞いた!



「〇〇な人」ランキング!!



怒らせると実は怖そうな人



武田祥也 12票

- ✓ うちに秘めてる思いが強そうだから。
- ✓ 家に帰ってストレスを犬に話してそう。
- ✓ 武田さんのように普段優しい人程、怒るときは怖く感じるから。



三輪風生 10票

- ✓ 圧がえぐそう。
- ✓ 無言になりそうだから。
- ✓ おっとりしている方だとは思いますが、怒らせるとやはり怖いのではないかと思ったから。



後藤龍聖 9票

- ✓ ぐうの音も出ない感じで詰めてきそう。
- ✓ 怒るよりも呆れの方が先にきそうだから。
- ✓ 話すのが上手、語彙力がありそうだからすごそう。

こんな声も !!



後藤大輝

- ✓ 筋トレの邪魔されたときにハイトーンでキレそう。

説田亜夢里

- ✓ 声荒げないけど目つきとオーラで訴えてきそう。

丸山喬士

- ✓ いつも冷静で、怒るのが想像できないから。

天然だなあって思う人



齋場玲音 14票

- ✓ 言葉をそのまま受け取っちゃう可愛い。あんまり伝わってなくて、「え！？え！？え、私なんかおかしいこと言っちゃった！？」ってテンパっちゃうの可愛い。あとたまにどストレートに褒めてくれたりするから照れちゃう。
- ✓ 食堂で食器を洗い、残飯捨てるところに皿を投入していた。
- ✓ 推しのことで頭いっぱいいてボーッとしてるから。



矢野梨花 13票

- ✓ ずっと喋るペースが変わらないマイペースの鑑だと感じるから。
- ✓ 独特な空気感で話すから。
- ✓ 天然の塊みたいな空気があるから。



芝高亜実 8票

- ✓ 「うん、うん、え、何が？？」って2秒前まで相槌してたのにキョトンとした顔で「え～何が？」って聞いてきがち！
- ✓ 慌てているのをたまに見るから。
- ✓ たまに言ってることがわけわかんない。

こんな声も !!



新居紅綸

- ✓ 1回コモンズを利用した時に、「いらっしやいませ」と言われたから。

山田真奈衣

- ✓ 話してくるエピソードが全ていい意味でズレていて面白いから。

山田理未佳

- ✓ 雰囲気天然。

ちゅとら愛が強い人



武田祥也 13票

- ✓ ちゅとら好きすぎてちゅとらの中の人になっちゃったから。
- ✓ ちゅとらきぐるみ着たって聞いたので。
- ✓ ちゅとらの中のひ+…。



後藤大輝 6票

- ✓ スライドでちゅとら使う時の語尾が「～ちゅら」。
- ✓ 写真とか一緒に写ってるイメージがある。

芝高亜実 6票

- ✓ 初代ちゅとらサポーターだから。
- ✓ ちゅとらのグッズを集めていそうだったから。



柏原純菜 5票

- ✓ ちゅとらの背後霊がみえる。
- ✓ ちゅとらのグッズをもっていたから。

尾崎花波

- ✓ ちゅとらのクッキー作りそうだから。

村上奈菜香

- ✓ ゆるキャラ好きそうだから。豹柄か虎柄の服着てたから。

小久保友誉

- ✓ 勝手なイメージだけどちゅとら愛してそうだから。

齋場玲音

- ✓ 卒業までに絶対ちゅとらのぬいぐるみ買うって言ってて、いつもちゅとら見る度に可愛いって言うてるから！

こんな声も !!



おしゃれだなあって思う人



芝高亜実 11票

- ✓ 可愛い系も綺麗め系もストリート系もなんでも似合ってるから羨ましい！
- ✓ インナーカラーで染めてるの見たから。そんなことする人はオシャレな人でしょ。
- ✓ 髪色が毎回センスの塊。



松井航太 7票

- ✓ 着てくる服にいろいろなジャンルがあってどれもおしゃれだし似合ってる。
- ✓ 毎回来てくる服が違ってこだわっていると感じる。
- ✓ かっこいい。



山田真奈衣 6票

- ✓ カッコ可愛いコスプレみたい！
- ✓ いつもオシャレ！この前エクステしてた！

井戸理紗子 6票

- ✓ パーカーがいつも面白可愛くて好きー。

こんな声も !!



李龍児

- ✓ ピンクという似合いすぎな髪色に、体もスレンダーで背が高いことからまるでモデル。

柏原純菜

- ✓ ほんとに私服可愛いほんとに可愛いどこで買ったか聞きたいくらい可愛い存在が可愛いまである。

応雨静

- ✓ 雰囲気と服が合っていて可愛い。

長生きしそうな人



後藤大輝 9票

- ✓ 40代頃から健康トレーニングに目覚めそう。
- ✓ 図太く生きそう。
- ✓ 痛風が心配だけどそれ以外は筋肉で打ち勝てそう。



深田康聖 6票

- ✓ 常に笑顔で、心の内にエネルギーを秘めていそう。80までセブンで元気に働いていて欲しい。
- ✓ マイペースで穏やかな生活して長生きできそうだから。
- ✓ 健康に気をつけてそうなイメージ。



三輪風生 5票

- ✓ あの眠そうな感じ、いずれ仙人になりそう。
- ✓ 3人(三輪、岩田、松井)で老人会開いてそうだから。

池田拓生 5票

- ✓ 体に良いものだけ食べてそうだから。
- ✓ 長生きするための計画を立ててそうだと思ったから。

土士田愛美

- ✓ 自然の力を持ってそうだから。

森本美音

- ✓ エネルギーを長い年月に分配してそう。

新居紅綸

- ✓ なんかいつも健康的。めっちゃ優しいおばあちゃんになりそう。

松井航太

- ✓ バンドが好きで、同じ趣味の若い子に囲まれてイキイキしたおじいちゃんになってそう。

こんな声も !!



生まれ変わったらなりたい人



伊藤秀美 7票

- ✓ かわいいし優しいし頑張り屋さんだししっかりしてるから！
- ✓ ふわふわっとしてて女子って感じがする！人あたりの良さも好き！
- ✓ 基本的に何でもできる人だから人生を体験してみたい。



グエンアイン 6票

- ✓ まっすぐに自分の意見を言えるところがすごい。濁りのない瞳と共に生まれ変わってみたい。
- ✓ テンション高くて人生楽しそうだから。

応雨静 6票

- ✓ 努力を続けれるその意識を私も持ちたい。
- ✓ 絵が上手く描ける力が欲しいから。



李龍児 5票

- ✓ 小さくて可愛いお顔がマジで普通に好き。
- ✓ 日本のアニメも好きという他国の文化を尊重してくれる考えを持ち合わせているから。

池田拓生 5票

- ✓ あの脚の長さになってみたい。
- ✓ あの身長と大人びた雰囲気が欲しい。

こんな声も !!



井戸理紗子

- ✓ いつもはっちゃけてるイメージが強くて絶対人生楽しい！

岩田スラジュ

- ✓ くっきりした目がほしいから。

杉山友望

- ✓ 来世はギャルになりたい。

無人島で1人になっても生き残れそうな人



後藤大輝 12票

- ✓ まっっっ黒になってめっちゃいい笑顔で楽しんでそう。
- ✓ 動物がいても倒して食べそうだし、魚を捌けるから。あと、無人島が似合う。
- ✓ 筋肉しか勝たん。



後藤龍聖 9票

- ✓ 無人島で家作って永住しそう。
- ✓ 黙々と自分の置かれている状況を把握して、一人になっても不自由なく暮らしてそう。
- ✓ 自分が面白いと思うことを常に考えていそうなので、無人島でも楽しく生きていけそう。



武田祥也 7票

- ✓ 何でも知っているイメージなので、涼しい顔で船を待ちながら無人島で一人暮らしてそう。
- ✓ 医療系学部なので無人島で生きる術を知ってそう。
- ✓ 空腹に耐えられそう。

こんな声も !!

漣知子

✓ えいやっとその場をしのんでなんとか生き残ってそう。

グエンアイ

✓ 前向きさと明るさで無人島開拓して畑とか作ってそう。

池田那月

✓ 頭がいいのと、声が通るから助けが来て脱出できそう。



ドラえもんが作れそうな人



武田祥也 10票

- ✓ 武田さんが計画&投資担当、三輪さんが開発担当で協力したら作れそうだから。
- ✓ 存在がもうドラえもん。
- ✓ もはや本人がドラえもんなのでは…？



岩田スラジュ 9票

- ✓ ドラえもんのみならず発明王になりそうだから。
- ✓ 工学部で機械のこと勉強してるからできそう。



三輪風生 7票

- ✓ 車の勉強してるからその勢いでできそう。
- ✓ ドラえもんみたいなもの作ってそう。作れそう…。

こんな声も !!

城戸瞭

✓爆笑しながら精密にドラえもんを作れそうなイメージ。何で俺がやるんですか？と口では言いながらも、いざとなったら真剣に作ってそう。

平山快

✓自分の好きな音楽とかをすぐ聴ける装置も組み込んでそう。話し相手を作ってそう。

小幡乃亜

✓パソコン得意だしさらっと作りそう。ある日突然面白いことやらかしそう。

杉山友望

✓こういう奴が意外とすごいことする。

MEMO



MEMO



MEMO



公式SNS

コモンズサポーター Twitter
@commons_chubu



コモンズサポーター Instagram
@commons_chubu



コモンズサポーター YouTube

